

学校規模・配置適正化に関するアンケート調査 結果報告書

平成 30 年 12 月
岸和田市教育委員会
教育総務課

目次

	頁
I. アンケート調査の概要	2
II. 調査結果【小学校】	5
1. 教職員	5
2. 保護者	17
3. 児童	26
4. まとめ	30
III. 調査結果【中学校】	32
1. 教職員	32
2. 保護者	44
3. 生徒	53
4. まとめ	56

I. アンケート調査の概要

1. 調査の目的

岸和田市立小中学校の適正な規模や配置を検討するにあたり、法令等による基準だけでなく、本市の特色や実情を踏まえるための参考として、学校現場に最も関わる教職員、保護者、児童生徒の意見を集約する。

2. 調査の対象

○市内各小中学校の校長、教頭、各学年クラス担任を持つ教職員(約 540 名)

○各小学校 6 年 1 組の児童とその保護者、各中学校 3 年 1 組の生徒とその保護者(約 2,300 名)

3. 調査方法

教育委員会総務課より、市内各小中学校へアンケート調査票を送付。各学校で教職員、保護者、児童生徒へ配布、回収を行う。

4. 調査期間

平成 30 年 9 月 6 日(木)～平成 30 年 9 月 26 日(水)

5. 集計の方法

本調査は、各学校の学校規模による教職員、保護者、児童生徒が感じるメリットや、デメリット等の特性や違いを把握するため、学校規模別に分類し、集計を行った。各学校の分類は下記のとおり。 ()内は通常学級数

小学校	6～11 学級	中央(7)、浜(7)、天神山(6)、修斉(8)、東葛城(6)、城東(7)、山直南(7)、山滝(6)
	12～18 学級	朝陽(15)、東光(18)、旭(17)、太田(13)、春木(13)、大芝(18)、大宮(17)、城北(12)、新条(15)、八木北(17)、八木(16)、八木南(16)
	19～24 学級	城内(21)、光明(21)、常盤(24)、山直北(19)
中学校	4～11 学級	野村(9)、葛城(7)、山滝(4)
	12～18 学級	岸城(16)、光陽(13)、桜台(18)、土生(15)、山直(15)、春木(14)、北(12)
	19～24 学級	久米田(21)

6. 調査内容及び配布枚数等

別紙のとおり

【別紙】アンケート調査配布枚数及び回収率

	学校名	教職員用			保護者用			児童生徒用		
		配布枚数	回収枚数	回収率(%)	配布枚数	回収枚数	回収率(%)	配布枚数	回収枚数	回収率(%)
小学校	中央	9	7	77.8	32	19	59.4	32	29	90.6
	城内	23	23	100	35	25	71.4	35	34	97.1
	浜	9	9	100	21	17	81.0	21	21	100
	朝陽	17	8	47.1	29	25	86.2	29	29	100
	東光	20	14	70.0	36	31	86.1	36	35	97.2
	旭	19	15	78.9	37	26	70.3	37	36	97.3
	太田	15	13	86.7	39	39	100	39	39	100
	天神山	8	8	100	35	23	65.7	35	34	97.1
	修斉	10	10	100	37	30	81.1	38	38	100
	東葛城	8	8	100	8	7	87.5	8	8	100
	春木	15	13	86.7	37	23	62.2	37	35	94.6
	大芝	20	15	75.0	33	20	60.6	33	32	97.0
	大宮	17	15	88.2	28	17	60.7	28	26	92.9
	城北	14	9	64.3	33	20	60.6	33	32	97.0
	新条	17	13	76.5	32	24	75.0	32	32	100
	八木北	19	17	89.5	35	34	97.1	35	35	100
	八木	18	10	55.6	36	22	61.1	35	35	100
	八木南	18	16	88.9	36	36	100	36	36	100
	光明	23	23	100	35	34	97.1	35	35	100
	常盤	26	24	92.3	34	30	88.2	34	34	100
山直北	21	21	100	40	33	82.5	42	40	95.2	
城東	9	9	100	25	22	88.0	25	25	100	
山直南	9	9	100	34	25	73.5	32	32	100	
山滝	8	5	62.5	14	11	78.6	14	14	100	
小学校計		372	314	84.4	761	593	77.9	761	746	98.0

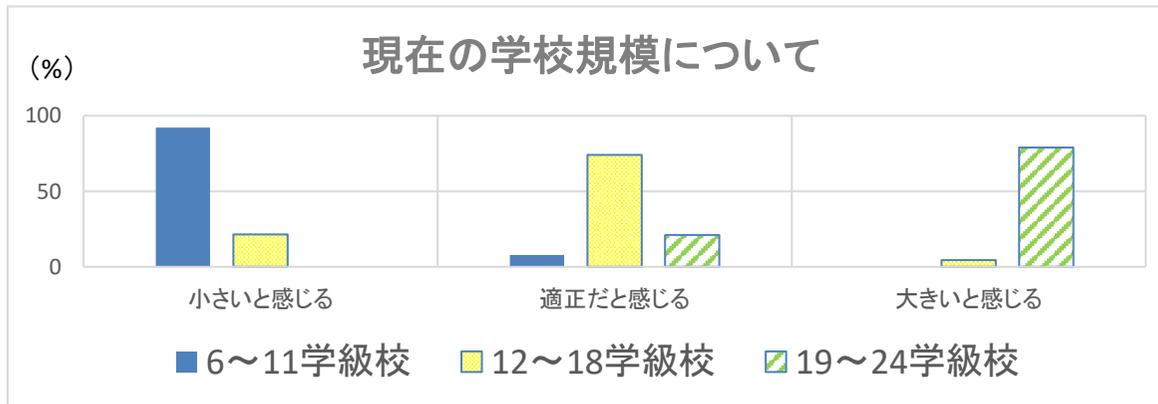
	学校名	教職員用			保護者用			児童生徒用		
		配布枚数	回収枚数	回収率(%)	配布枚数	回収枚数	回収率(%)	配布枚数	回収枚数	回収率(%)
中学校	岸城	18	16	88.9	38	21	55.3	38	38	100
	光陽	15	14	93.3	37	20	54.1	37	32	86.5
	野村	11	11	100	34	16	47.1	33	33	100
	桜台	19	19	100	36	36	100	36	33	91.7
	葛城	9	7	77.8	28	26	92.9	28	28	100
	土生	17	17	100	41	30	73.2	41	37	90.2
	久米田	23	19	82.6	41	25	61.0	41	34	82.9
	山直	17	14	82.4	40	38	95.0	40	35	87.5
	春木	16	14	87.5	37	22	59.5	37	34	91.9
	北	14	14	100	37	32	86.5	35	35	100
	山滝	6	6	100	32	29	90.6	32	32	100
中学校計		165	151	91.5	401	295	73.6	398	371	93.2
合計		537	465	86.6	1,162	888	76.4	1,159	1,117	96.4

Ⅱ. 調査結果【小学校】

1. 教職員

【問2】現在勤務されている学校の規模(支援学級除く通常の学級数)についてどう感じていますか。

		6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	小さいと感じる	59	92.2	34	21.5		0.0
2	適正だと感じる	5	7.8	117	74.1	19	21.1
3	大きいと感じる		0.0	7	4.4	71	78.9
合計		64	100	158	100	90	100



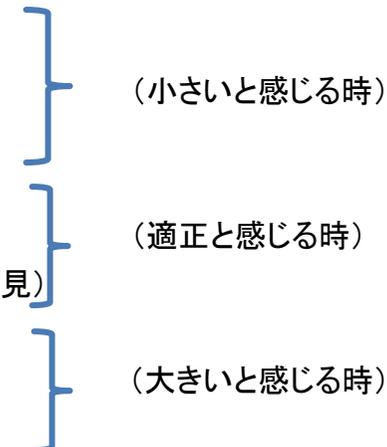
🔊 【適正】であると感じている学校は、12～18 学級の学校で 74.1%と最も高い。

🔊 【小さい】と感じている学校は、6～11 学級の学校で 92.2%と最も高い。

🔊 【大きい】と感じている学校は、19～24 学級の学校で 78.9%と最も高い。

【問3】問2に対してどのような時にそう感じますか。あれば具体的にご記入ください。

- ・発言者が少ない。意見の広がりが少ない等授業の内容に変化を持たせるのが難しい。(6～11 学級校の意見)
- ・クラス替えができず、人間関係がリセットできない為に悩んでいる子どもを見たとき。(6～11 学級校の意見)
- ・学年の行事を相談する相手がいなとき。(6～11 学級校の意見)
- ・各学年3クラスあるので、相談事が学年でできる。(12～18 学級校の意見)
- ・全学年3クラスあり、児童のクラス分けが公正にできる。(12～18 学級校の意見)
- ・6学級や 30 学級の学校も経験したが、遠足や学校行事の際、今が一番動きやすいと感じる。(12～18 学級校の意見)
- ・人が多すぎてけがが多い。(19～24 学級校の意見)
- ・空き教室がなく余裕がない。(19～24 学級校の意見)
- ・児童数に対して、先生の数が足りない。目が行き届かない。(19～24 学級校の意見)



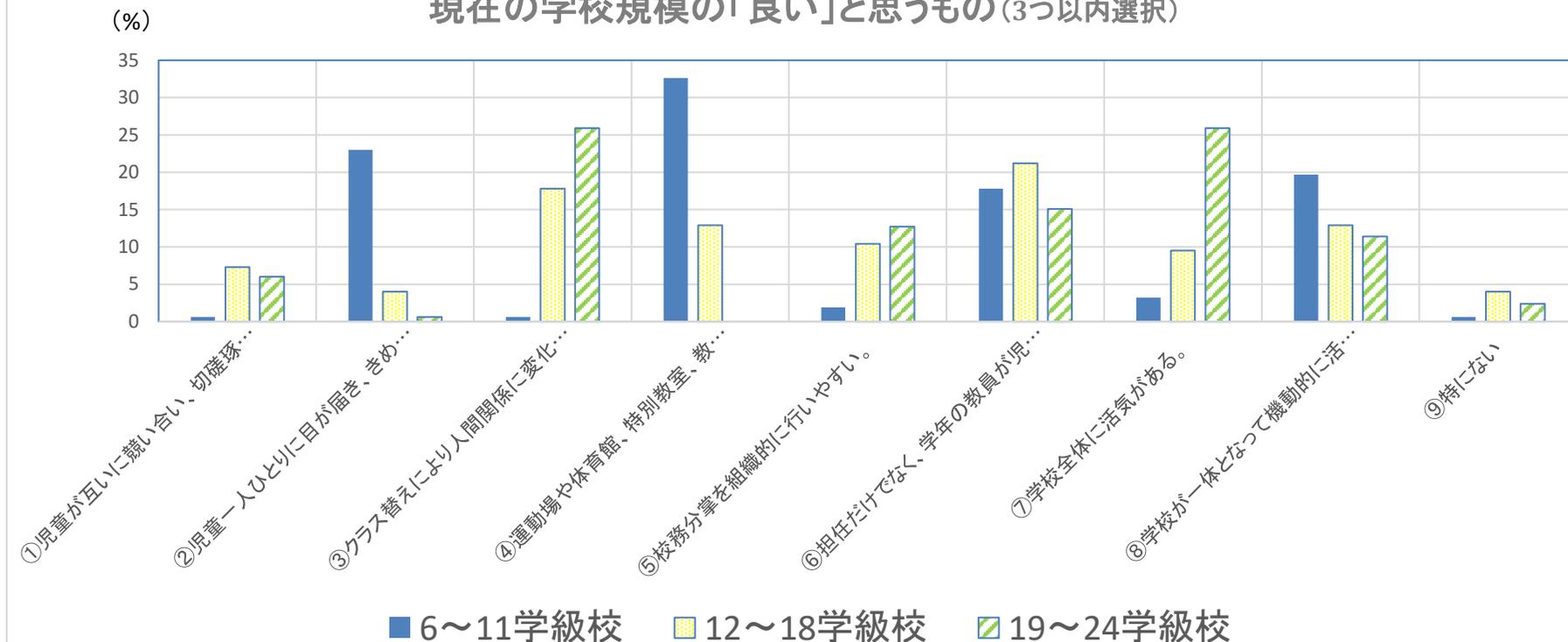
【問4】現在勤務されている学校規模の「良い」と思われるものをお選びください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

		6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
		回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)
1	児童が互いに競い合い、切磋琢磨する機会が多い。	1	0.6	24	7.3	10	6.0
2	児童一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が行いやすい。	36	23.0	13	4.0	1	0.6
3	クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達がたくさんできる。	1	0.6	58	17.8	43	25.9
4	運動場や体育館、特別教室、教材備品など余裕を持って利用できる。	51	32.6	42	12.9		0.0
5	校務分掌を組織的に行いやすい。	3	1.9	34	10.4	21	12.7
6	担任だけでなく、学年の教員が児童生徒の様子を把握できる。	28	17.8	69	21.2	25	15.1
7	学校全体に活気がある。	5	3.2	31	9.5	43	25.9
8	学校が一体となって機動的に活動しやすい。	31	19.7	42	12.9	19	11.4
9	特にない。	1	0.6	13	4.0	4	2.4
合計		157	100	326	100	166	100

10 その他の意見

- ・子どもたちが学年を超えて顔と名前がわかる。教員、子どもが全学年つながる。(6～11 学級校)
- ・活気があり、たくさん子どもたち、先生方から学ぶことが多い。(19～24 学級校)

現在の学校規模の「良い」と思うもの(3つ以内選択)



- 🗨️ 6～11 学級の学校では、「④運動場や体育館、特別教室、教材備品など余裕を持って利用できる。」や「②児童一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が行いやすい。」の割合が高い。
- 🗨️ 12～18 学級の学校では、「⑥担任だけでなく、学年の教員が児童生徒の様子を把握できる。」や「③クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達がたくさんできる。」の割合が高い。
- 🗨️ 19～24 学級の学校では、「③クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達がたくさんできる。」や「⑦学校全体に活気がある。」の割合が高い。

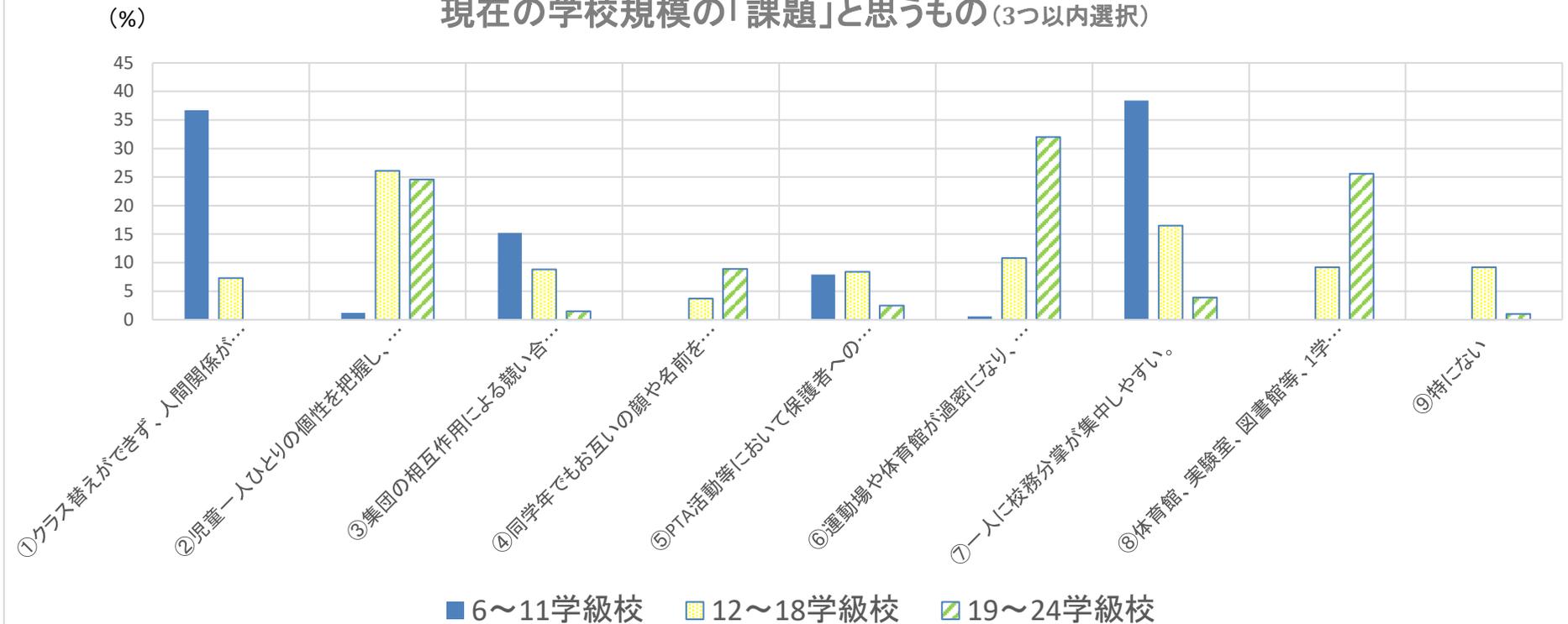
【問5】現在勤務されている学校規模の「課題」と思われるものをお選びください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

	6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1 クラス替えができず、人間関係が固定化しやすい。	60	36.7	18	7.3		0.0
2 児童一人ひとりの個性を把握し、きめ細やかな指導を行うことが難しい。	2	1.2	65	26.1	50	24.6
3 集団の相互作用による競い合い、切磋琢磨する機会が少ない。	25	15.2	22	8.8	3	1.5
4 同学年でもお互いの顔や名前を知らない等、児童生徒間の人間関係が希薄化しやすい。		0.0	9	3.7	18	8.9
5 PTA 活動等において保護者への負担が大きい。	13	7.9	21	8.4	5	2.5
6 運動場や体育館が過密になり、活動に制限が生じやすい。	1	0.6	27	10.8	65	32.0
7 一人に校務分掌が集中しやすい。	63	38.4	41	16.5	8	3.9
8 体育館、実験室、図書館等、1 学級当たり各施設の十分な割り当てが難しい。		0.0	23	9.2	52	25.6
9 特にない。		0.0	23	9.2	2	1.0
合計	164	100	249	100	203	100

10 その他の意見

- ・教員数が少なく、体調不良時等に休暇が取れない。(6～11 学級校)
- ・運動会等の行事の盛り上がり欠ける。(6～11 学級校)
- ・急激に児童が増加しているにも関わらず、運動場等が大変狭く危険。(19～24 学級校) →同様の意見多数あり。

現在の学校規模の「課題」と思うもの(3つ以内選択)



🗨️ 6～11 学級の学校では、「⑦一人に校務分掌が集中しやすい。」や「①クラス替えができません、人間関係が固定化しやすい。」の割合が高い。

🗨️ 12～18 学級の学校では、「②児童一人ひとりの個性を把握し、きめ細やかな指導を行うことが難しい。」や「⑦一人に校務分掌が集中しやすい。」の割合が高い。また、「⑨特になし」の割合が他の学校規模と比べて高い。

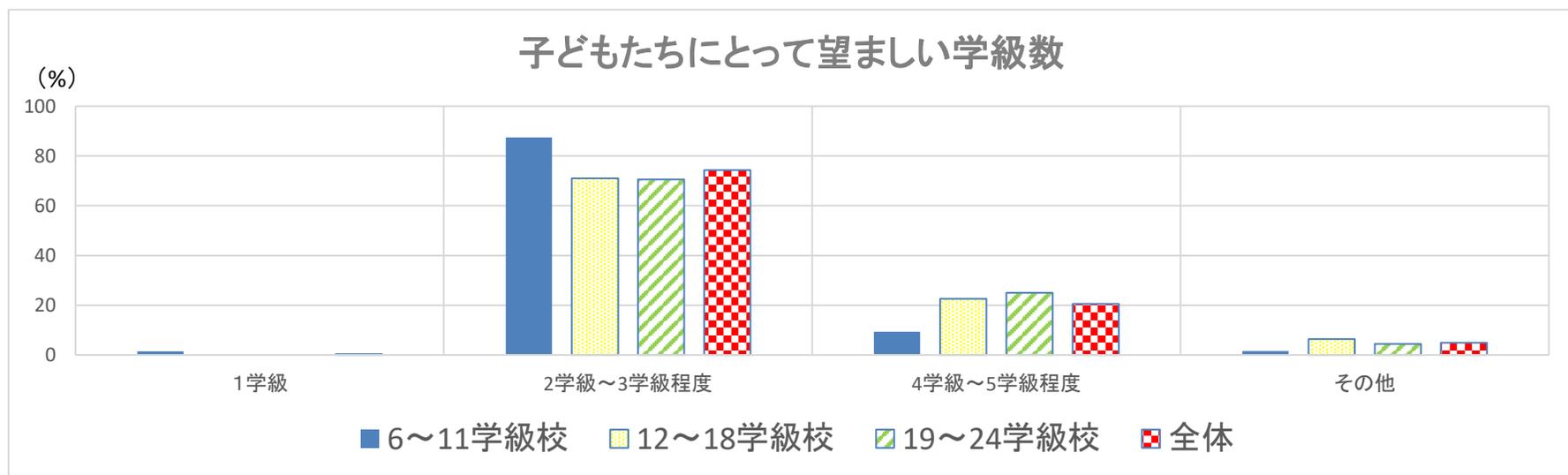
🗨️ 19～24 学級の学校では、「⑥運動場や体育館が過密になり、活動に制限が生じやすい。」や「⑧体育館、実験室、図書館等、1 学級当たり各施設の十分な割り当てが難しい。」の割合が高い。

【問6】子どもたちにとって望ましいと思う学級数を1つお選びください。(1学年あたり)

		6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校		全体	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	1学級	1	1.5	0	0.0	0	0.0	1	0.3
2	2学級～3学級程度	56	87.5	110	71.0	62	70.5	228	74.3
3	4学級～5学級程度	6	9.4	35	22.6	22	25.0	63	20.5
4	その他	1	1.6	10	6.4	4	4.5	15	4.9
合計		64	100	155	100	88	100	307	100

4 その他の内訳

3学級～4学級程度:14 2学級:1



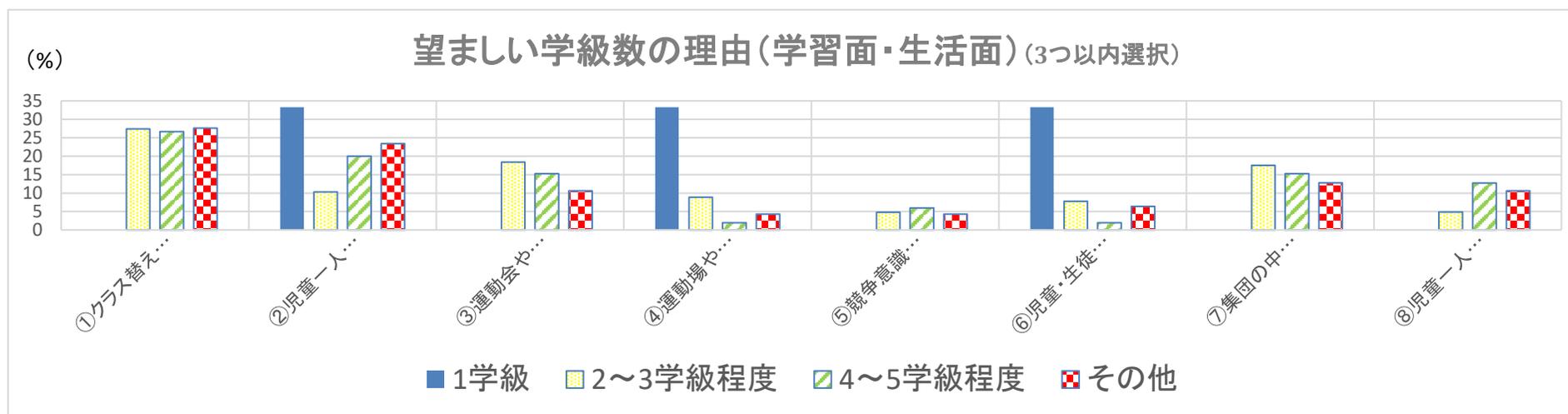
👉 どの学校規模においても、「2学級～3学級程度」が望ましいと回答した割合が最も高く、全体でも74.3%となっている。

👉 「4学級～5学級程度」が次いで割合が高く、全体で20.5%となっている。

👉 「1学級」は、全体で0.3%と最も割合が低い。

【問7】問6の理由(学習面・生活面)をお聞かせください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

		1学級		2学級～3学級程度		4学級～5学級程度		その他	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる。		0.0	144	27.4	40	26.7	13	27.6
2	児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい。	1	33.3	54	10.3	30	20.0	11	23.4
3	運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる。		0.0	97	18.4	23	15.3	5	10.6
4	運動場や体育館、特別教室、教材備品など余裕を持って利用できる。	1	33.3	47	8.9	3	2.0	2	4.3
5	競争意識が高まることで、児童・生徒が互いに切磋琢磨したくましさ等を育みやすい。		0.0	25	4.8	9	6.0	2	4.3
6	児童・生徒相互の人間関係が深まりやすく、また異なった学年との縦の交流が生まれやすい。	1	33.3	41	7.8	3	2.0	3	6.4
7	集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性を身につけることができる。		0.0	92	17.5	23	15.3	6	12.8
8	児童一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。		0.0	26	4.9	19	12.7	5	10.6
合計		3	99.9	526	100	150	100	47	100

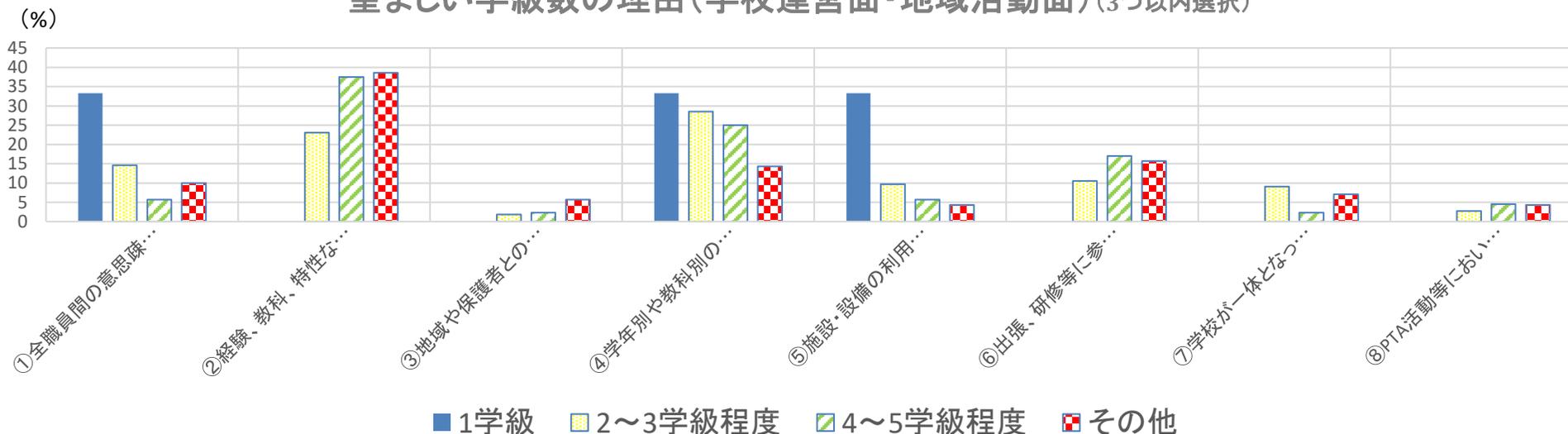


- 👉 2～3学級程度が望ましい理由として、「①クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる。」挙げた割合が最も高く次いで「③運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる。」の割合が高い。
- 👉 4～5学級程度が望ましい理由として、「①クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる。」挙げた割合が最も高く次いで「②児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい。」の割合が高い。

【問8】問6の理由(学校運営面・地域活動面)をお聞かせください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

		1学級		2学級～3学級程度		4学級～5学級程度		その他	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	全職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。	1	33.3	71	14.6	5	5.7	7	10.0
2	経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教員配置を行いやすい。		0.0	112	23.1	33	37.5	27	38.6
3	地域や保護者との関係が強くなり、開かれた学校づくりができる。		0.0	9	1.8	2	2.3	4	5.7
4	学年別や教科別の教員同士で学習指導や生活指導についての相談等がしやすい。	1	33.3	138	28.5	22	25.0	10	14.3
5	施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。	1	33.3	47	9.7	5	5.7	3	4.3
6	出張、研修等に参加しやすい。		0.0	51	10.5	15	17.0	11	15.7
7	学校が一体となって活動しやすい。		0.0	44	9.1	2	2.3	5	7.1
8	PTA活動等において、役割分担により、保護者の負担を軽減しやすい。		0.0	13	2.7	4	4.5	3	4.3
合計		3	99.9	485	100	88	100	70	100

望ましい学級数の理由(学校運営面・地域活動面)(3つ以内選択)



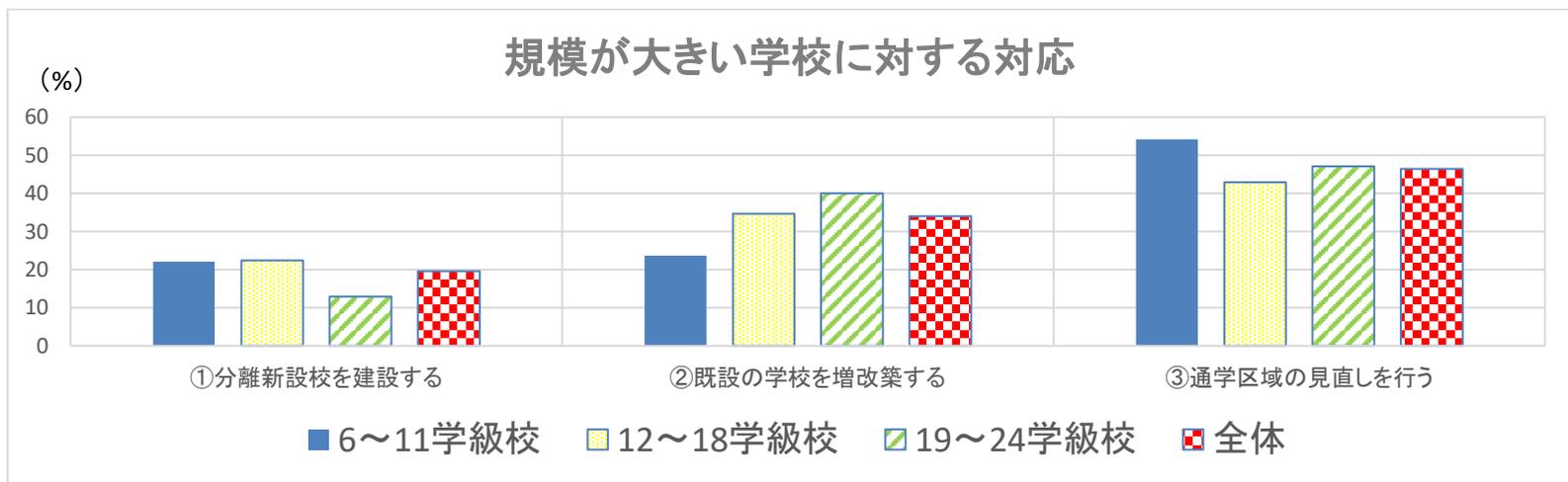
📌 2～3学級程度又は4～5学級程度が望ましい理由として、「②経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教員配置を行いやすい。」と「④学年別や教科別の教員同士で学習指導や生活指導についての相談等がしやすい。」を選択した割合が高い。

【問9】規模が大きい学校に対する対応として望ましいと思うものを1つお選びください。

	6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校		全体	
	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)
1 分離新設校を建設する	13	22.1	33	22.4	11	12.9	57	19.6
2 既設の学校を増改築する	14	23.7	51	34.7	34	40.0	99	34.0
3 通学区域の見直しを行う	32	54.2	63	42.9	40	47.1	135	46.4
合計	59	100	147	100	85	100	291	100

その他の意見

- ・教員ではない専門家が人員配置、業務効率化等のマネジメントを行う。
- ・クラスに担任1人ではなく、児童数に対する教師の人数(20人に1人等)にする。
- ・40人、45人学級での先生の数を増やして頑張る。
- ・教職員の増員



どの学校規模においても、「③通学区域の見直しを行う」の割合が高く、全体の約半数を占める。

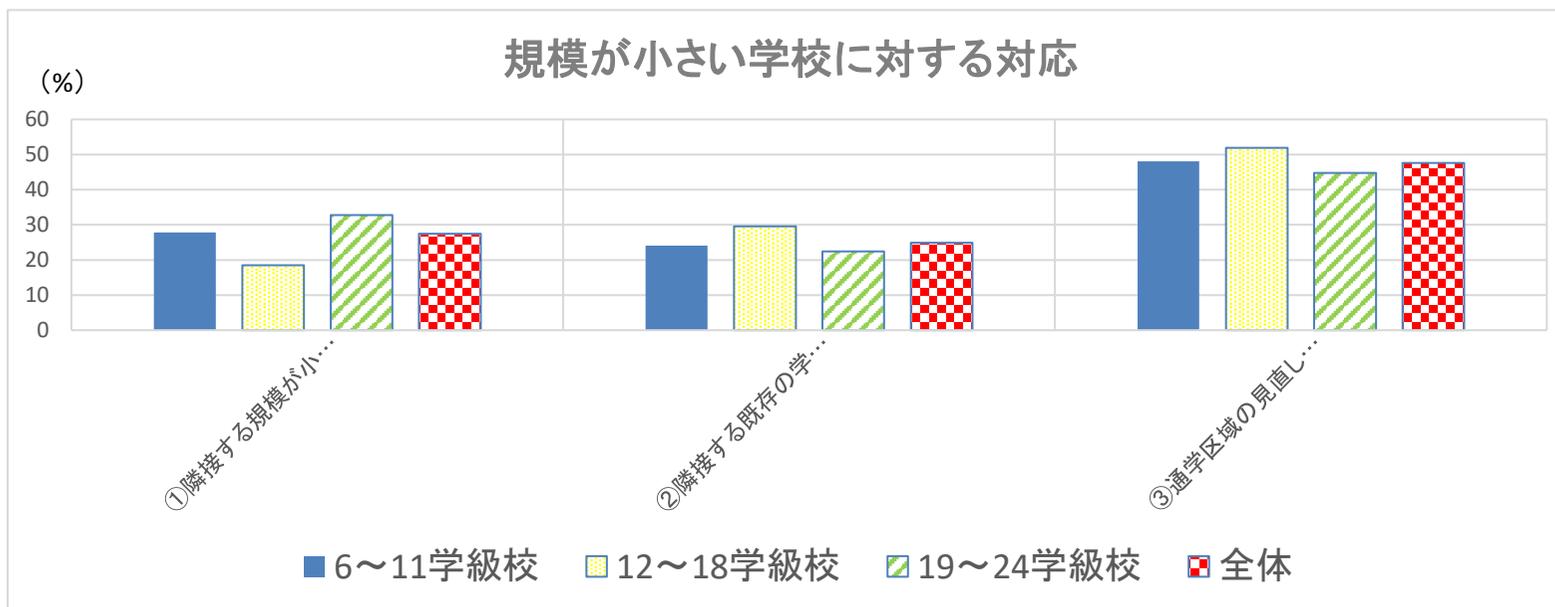
次いで「②既設の学校を増改築する」が3割～4割程度を占め、「①分離新設校を建設する」は全体の約2割。

【問 10】規模が小さい学校に対する対応として望ましいと思うものを1つお選びください。

		6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校		全体	
		回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)
1	隣接する規模が小さい学校同士を統合し、新たな学校を新設する。	15	27.8	15	18.5	44	32.8	74	27.5
2	隣接する既存の学校に統合する。	13	24.1	24	29.6	30	22.4	67	24.9
3	通学区域の見直しを行う。	26	48.1	42	51.9	60	44.8	128	47.6
合計		54	100	81	100	134	100	269	100

その他の意見

- ・地域の特性上、単に規模のみで合併するのは難しく、現状維持が望ましい。
- ・地域と学校のつながりや協力関係維持のため、現状のまま継続。
- ・小規模特認校



どの学校規模においても、「③通学区域の見直しを行う」の割合が高く、全体の約半数を占める。

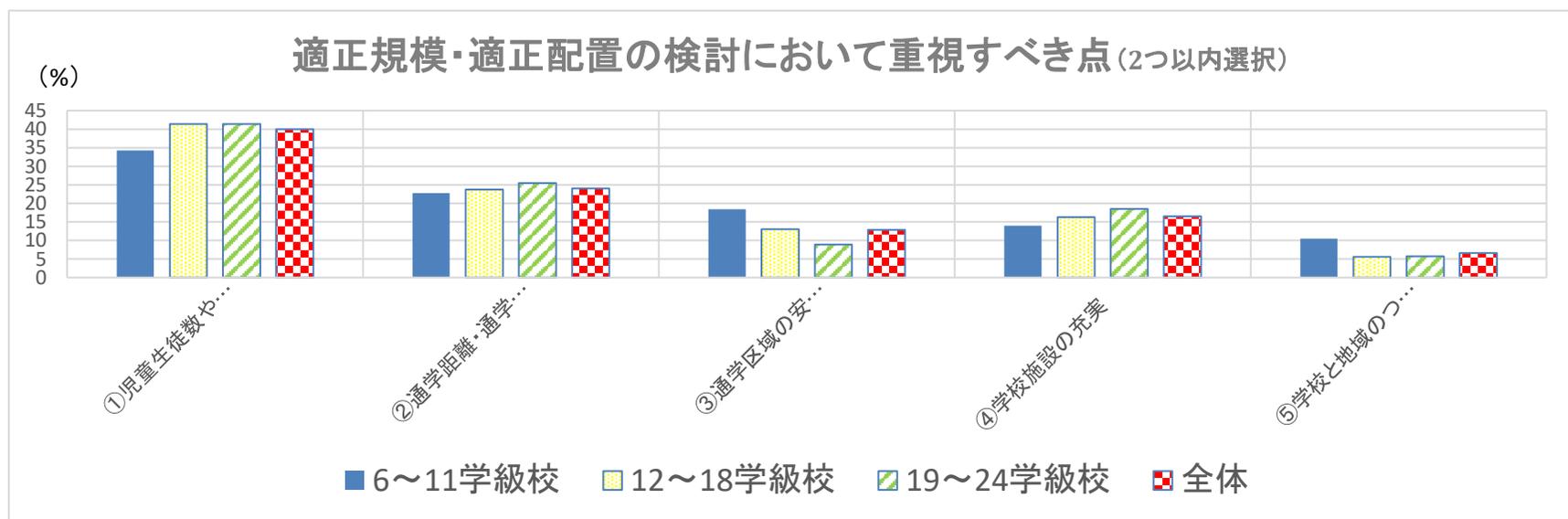
「①新たな学校の新設」と「②既存の学校に統合」の割合が同程度で、2割～3割程度。

【問 11】学校の適正規模・適正配置を検討する上で、特に重視すべき点をお選びください。(選択は2つ以内、上位2項目を網掛け)

	6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校		全体	
	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)
1 児童生徒数や学級数の多い少ない	39	34.3	112	41.4	65	41.4	216	40.0
2 通学距離・通学時間	26	22.8	64	23.7	40	25.5	130	24.0
3 通学区域の安全性	21	18.4	35	13.0	14	8.9	70	12.9
4 学校施設の充実	16	14.0	44	16.3	29	18.5	89	16.5
5 学校と地域のつながり	12	10.5	15	5.6	9	5.7	36	6.6
合計	114	100	270	100	157	100	541	100

その他の意見

・地域に根付いている文化



どの学校規模においても、「①児童生徒数や学級数の多い少ない」の割合が最も高く、全体の40%を占める。

次いで、「②通学距離・通学時間」を重視する割合がどの学校規模においても高く、全体の24%を占める。

【自由意見】教育的視点から考える学校の適正規模・適正配置について

- ・担任以外の専門職の配置。(2)
- ・人員を増やすことが教育的視点から見れば必要。
- ・小規模校への加配を増やし、きめ細やかな指導を行う。
- ・規模が小さい学校へ転学しやすい体制づくり。
- ・5～10年計画で適正化の方針を示し、地域へ丁寧な説明を行う。
- ・小学校ごとに市民協議会が運営されているため、児童数だけを見て適正かどうかを判断するのは難しい。
- ・公立学校はその地域に根ざした教育環境であり、安易な合併は適さない。
- ・地域性が強いところだと「変える」ということに対して労力がかかる。
- ・地域性、保護者の思いを考えると小規模校の統廃合は困難。新設校で幼小中一貫校にする等特色を持たせる。
- ・小中一貫校(施設一体型)を計画的に進める。
- ・固定化された人間関係から起こるトラブル、小規模化した学校での職員配置からおこる課題を解消するため適正規模への転換が必要。
- ・岸和田市内は小規模校が多すぎる。統廃合を早急に進めるべき。
- ・各学年3～4学級の中規模校が望ましい。クラス替えで新しい人間関係を築くことができ、教職員も校務分掌が適切に分担されるため。
- ・1学年4クラスまでが適正と考える。それ以上は特別教室の割り当てがしんどい。
- ・各学年3クラス程度、全体500人ぐらいがちょうどいい。
- ・各学年3クラスだと担任が3人いるので学年の仕事を分担しやすく負担が減る。
- ・各学年3クラスあるほうが、人間関係等の配慮ができる。2クラスだと人間関係が偏る。
- ・これまで大規模校、小規模校を経験してきたが、各学年3クラス規模の学校がいろんな面で活動するにはよいかと考える。
- ・4クラス6学年ぐらいが良い規模だと思うが、その規模に見合った施設、設備が必要。それが不十分なら各学年2クラスでもよい。
- ・40人を超える学級の対応を検討すべき。(5)
- ・35人学級になるともう少しゆとりのある学級づくりができる。(7)
- ・1クラス当たりの人数を減らす。(7)
- ・支援在籍児童を通常学級の児童数にカウントしないことを見直す。(4)
- ・1学年50～60名で2クラス。通学距離が長くなならないよう、通学区域の見直しを行う。
- ・単にクラス数ではなく、1クラスの人数が問題。40人学級では3クラスでも2クラスでも課題は同じ。
- ・学級数の問題ではなく、学級人数の見直しを図るべき。(10)
- ・1学級当たりの人数を30人程度。(6)
- ・学力保障の観点から1学級25人以下が望ましい。

2. 保護者

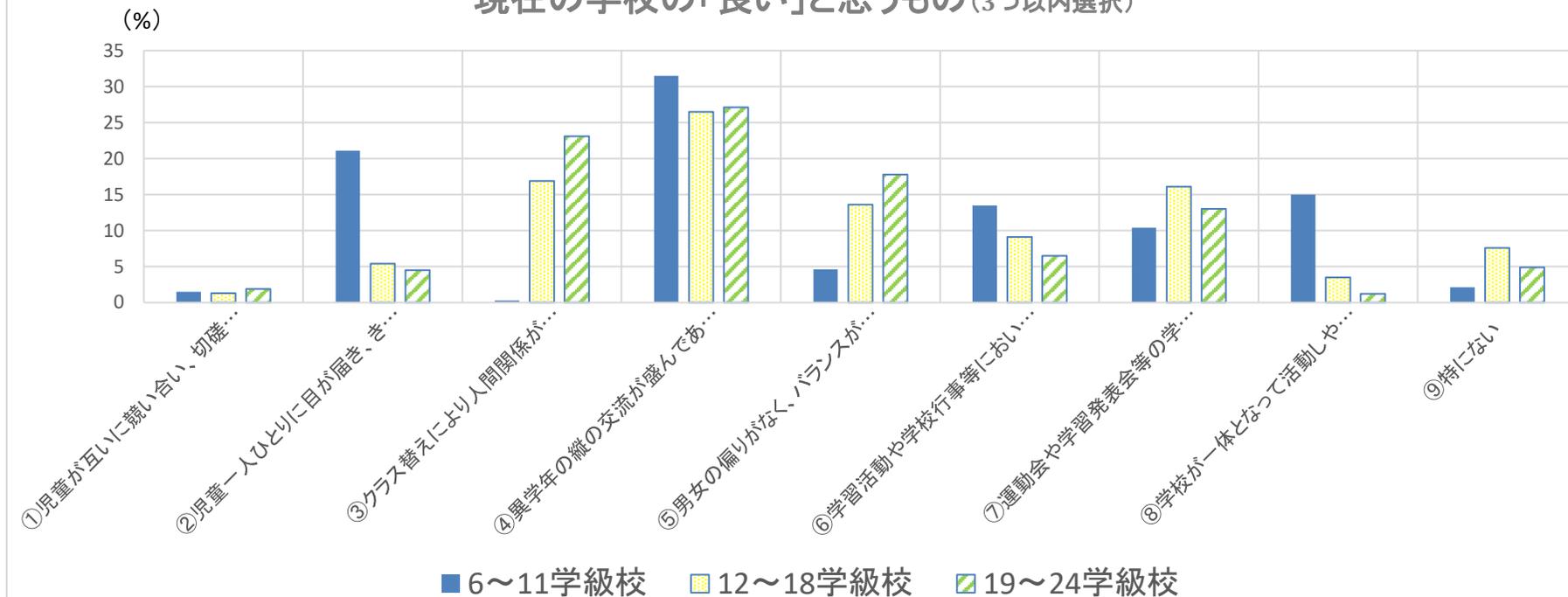
【問2】お子さんが現在通学している学校の「良い」と思われるものをお選びください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

		6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	児童が互いに競い合い、切磋琢磨する機会が多い。	5	1.5	8	1.3	5	1.9
2	児童一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が行われている。	69	21.1	32	5.4	11	4.5
3	クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる。	1	0.3	101	16.9	57	23.1
4	異学年の縦の交流が盛んである。	103	31.5	158	26.5	67	27.1
5	男女の偏りがなく、バランスが取れている。	15	4.6	81	13.6	44	17.8
6	学習活動や学校行事等において、児童一人ひとりの活躍や登場の機会が多い。	44	13.5	54	9.1	16	6.5
7	運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる。	34	10.4	96	16.1	32	13.0
8	学校が一体となって活動しやすい。	49	15.0	21	3.5	3	1.2
9	特にない。	7	2.1	45	7.6	12	4.9
合計		327	100	596	100	247	100

その他の意見

- ・先生が自分の教え子以外の名前や兄弟のことも覚えてくれて親しみやすい。(6～11 学級校)
- ・異学年と仲良くでき、先生もみんな知っていてくれてありがたい。(6～11 学級校)
- ・地域との距離感が近く、防犯面、安全面でも皆が子どもを見守ってくれている。(6～11 学級校)
- ・登校班があるので安心。(6～11 学級校)
- ・支援学級の先生がきめ細かく指導してくださって、成績も、学校生活も良くなっている。(6～11 学級校)
- ・担任ではないのに声をかけてくれ、一人ひとりを盛り上げてくれるとても素敵な先生がいる。他の先生の雰囲気もいい。(12～18 学級校)
- ・先生方が元気でパワーがあり、活気がある。(12～18 学級校)
- ・先生方の団結が強く、チームワークがいい。そうすると、自然に子どもも学校全体の雰囲気も良くなる。(12～18 学級校)
- ・熱心な先生が多く、学校生活を楽しんでいる。(12～18 学級校)
- ・子どもがのびのびしている。(19～24 学級)

現在の学校の「良い」と思うもの(3つ以内選択)



🗨️ 6～11 学級の学校では、他よりも「②児童一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が行われている。」や「⑧学校が一体となって活動しやすい。」の割合が高い。

🗨️ 「③クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる。」の割合は、12～18 学級、19～24 学級の学校で割合が高く、上位を占める。

🗨️ 「⑤男女の偏りがなく、バランスが取れている。」の割合も、12～18 学級、19～24 学級の学校で割合が高い。

🗨️ 「④異学年の縦の交流が盛んである。」の割合はどの学校規模でも最も割合が高い。

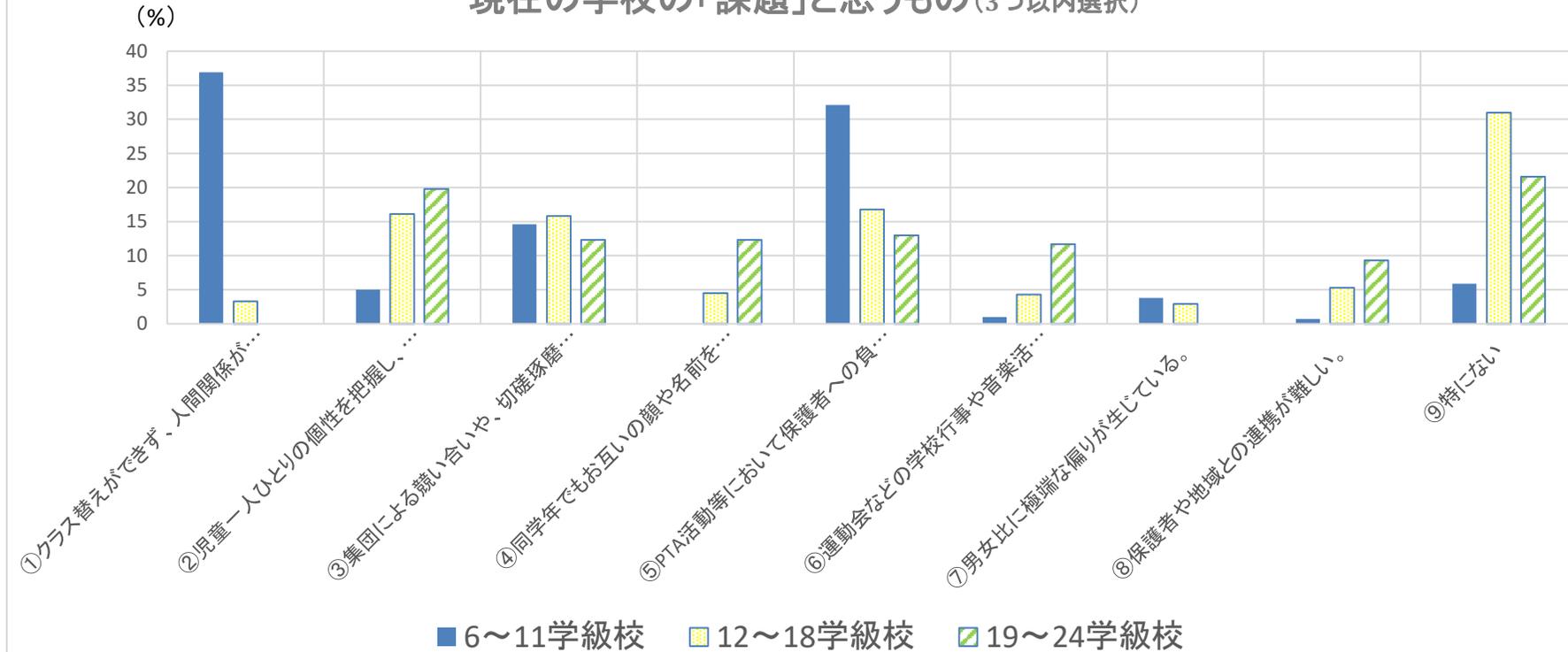
【問3】お子さんが現在通学している学校の「課題」と思われるものをお選びください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

	6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1 クラス替えができず、人間関係が固定化している。	106	36.9	12	3.3		0.0
2 児童一人ひとりの個性を把握し、きめ細やかな指導を行うことが少ない。	14	5.0	60	16.1	32	19.8
3 集団による競い合いや、切磋琢磨する機会が少ない。	42	14.6	59	15.8	20	12.3
4 同学年でもお互いの顔や名前を知らない等、児童間のつながりが弱い。		0.0	17	4.5	20	12.3
5 PTA 活動等において保護者への負担が大きい。	92	32.1	63	16.8	21	13.0
6 運動会などの学校行事や音楽活動等の集団活動の時間に制約が生じる。	3	1.0	16	4.3	19	11.7
7 男女比に極端な偏りが生じている。	11	3.8	11	2.9		0.0
8 保護者や地域との連携が難しい。	2	0.7	20	5.3	15	9.3
9 特にない。	17	5.9	116	31.0	35	21.6
合計	287	100	374	100	162	100

その他の意見

- ・人数が少ないと運動会がすごく寂しい。(6～11 学級校)
- ・規模が小さいわりに目が行き届いていない。(6～11 学級校)
- ・地域独特の人間関係がある。(6～11 学級校)
- ・クラス替えがないうえに担任が同じで続くことがある。(6～11 学級校)
- ・人間関係がぎくしゃくした際、クラス替えがなく6年間同じだと心苦しいときがある。(6～11 学級校)
- ・学年2,3クラスしかないのでクラス替えが十分ではない。中学校へ行っても友達が増えない関係は良くない。(12～18 学級校)
- ・地域色が強すぎる。(12～18 学級校)
- ・先生が忙しく、子どもとじっくり話をする時間や、補習授業を行う時間が持てない点。(12～18 学級校)
- ・都市開発により急激にマンモス校になり、運動場が狭い。遊具が十分に使えない等支障が出ている。(19～24 学級校)

現在の学校の「課題」と思うもの(3つ以内選択)



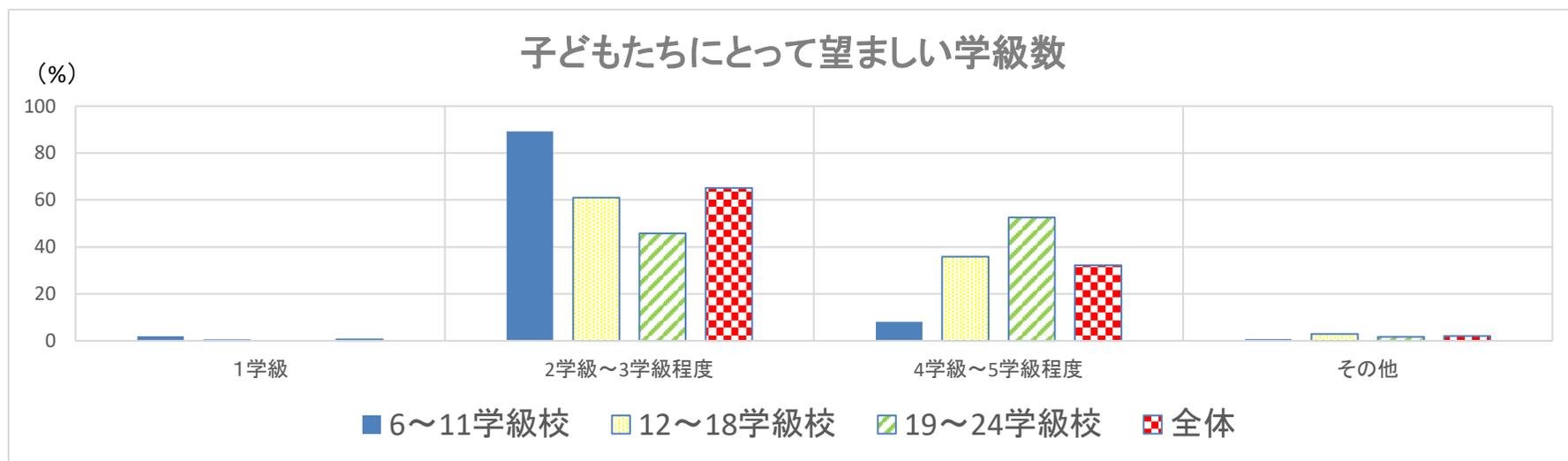
- 🗨️ 6～11 学級の学校では、「①クラス替えができず、人間関係が固定化している。」の割合が最も高く全体の約 40%を占めている。次いで、「⑤PTA 活動等において保護者への負担が大きい。」の割合が高く、全体の約 30%を占めている。
- 🗨️ 12～18 学級、19～24 学級の学校では、「②児童一人ひとりの個性を把握し、きめ細やかな指導を行うことが少ない。」割合が、6～11 学級の学校よりも高い。
- 🗨️ 19～24 学級の学校では、「⑥運動会などの学校行事や音楽活動等の集団活動の時間に制約が生じる。」の割合が他の学校規模よりも高い。
- 🗨️ 12～18 学級の学校では「⑨特にない」の割合が 31%と最も高い。

【問4】子どもたち(小学生)にとって1学年あたりどの程度の学級数が望ましいと思われますか。

		6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校		全体	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	1学級	3	2.0	1	0.3		0.0	4	0.6
2	2学級～3学級程度	132	89.2	189	61.0	55	45.8	376	65.1
3	4学級～5学級程度	12	8.1	111	35.8	63	52.5	186	32.2
4	その他	1	0.7	9	2.9	2	1.7	12	2.1
合計		148	100	310	100	120	100	578	100

その他

3学級～4学級程度:12



どの学校規模においても、「2学級～3学級程度」が望ましいと回答した割合が高く、全体で65.1%。
6～11学級の学校では89.2%を占める。

19～24学級の学校では「4学級～5学級程度」の割合が最も高く、約半数を占める。

「1学級」は、全体で0.6%と最も割合が低い。

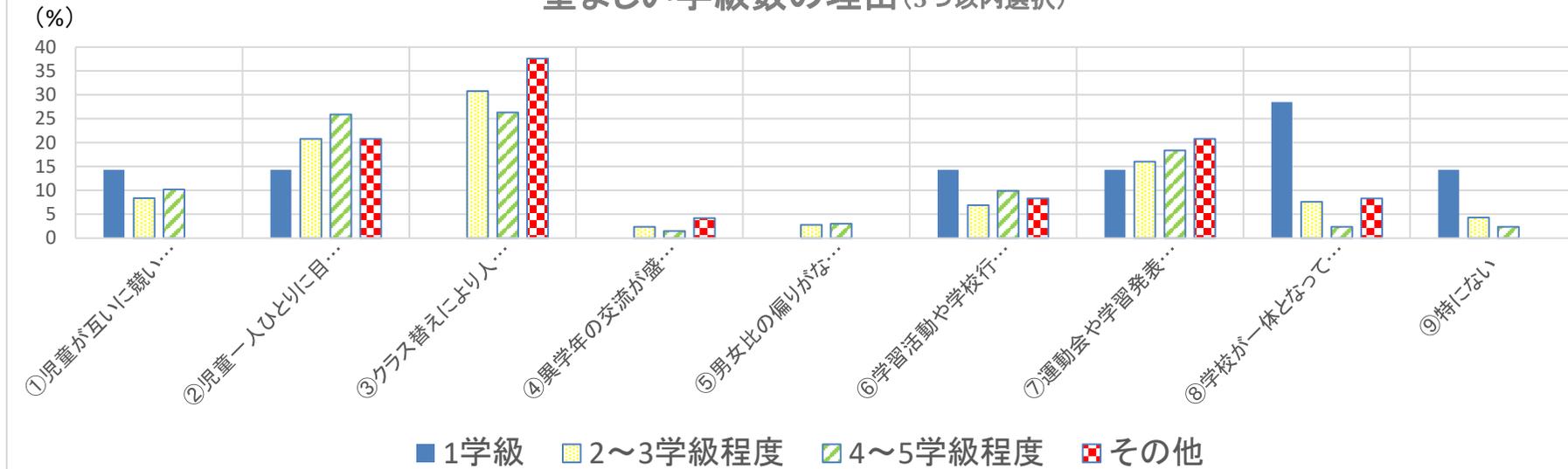
【問5】問4の理由をお聞かせください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

		1学級		2学級～3学級程度		4学級～5学級程度		その他	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	児童が互いに競い合い、切磋琢磨する機会が多い。	1	14.3	56	8.4	34	10.2		0.0
2	児童一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が行われる。	1	14.3	139	20.8	86	25.9	5	20.8
3	クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる。		0.0	205	30.8	87	26.3	9	37.6
4	異学年の交流が盛んになる。		0.0	16	2.4	5	1.5	1	4.2
5	男女比の偏りがなく、バランスが取れる。		0.0	19	2.8	10	3.0		0.0
6	学習活動や学校行事等において、児童一人ひとりの活躍や登場の機会が多くなる。	1	14.3	46	6.9	33	9.9	2	8.3
7	運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる。	1	14.3	107	16.0	61	18.4	5	20.8
8	学校が一体となって活動しやすい。	2	28.5	51	7.6	8	2.4	2	8.3
9	特にない。	1	14.3	29	4.3	8	2.4		0.0
合計		7	100	668	100	332	100	24	100

その他の意見

- ・いじめ等が起こった時、単学級ではどうにもならない。(2～3学級が望ましい)
- ・クラス替えがないと、そのクラスになじめなくなると逃げ場がなくなる。(2～3学級が望ましい)
- ・ある程度の人数がいないと、気の合う友達と出会わないため。(2～3学級が望ましい)
- ・クラス替えができる人数がいれば、初対面の人とどうやって接すればよいか等の経験を踏める。(2～3学級が望ましい)
- ・学級数が少ないと問題が起きたときに居場所がなくなる。反対に多すぎると目が行き届きにくい。(2～3学級が望ましい)
- ・多様性が生まれる。多様性を認める学習になる。(2～3学級が望ましい)

望ましい学級数の理由(3つ以内選択)

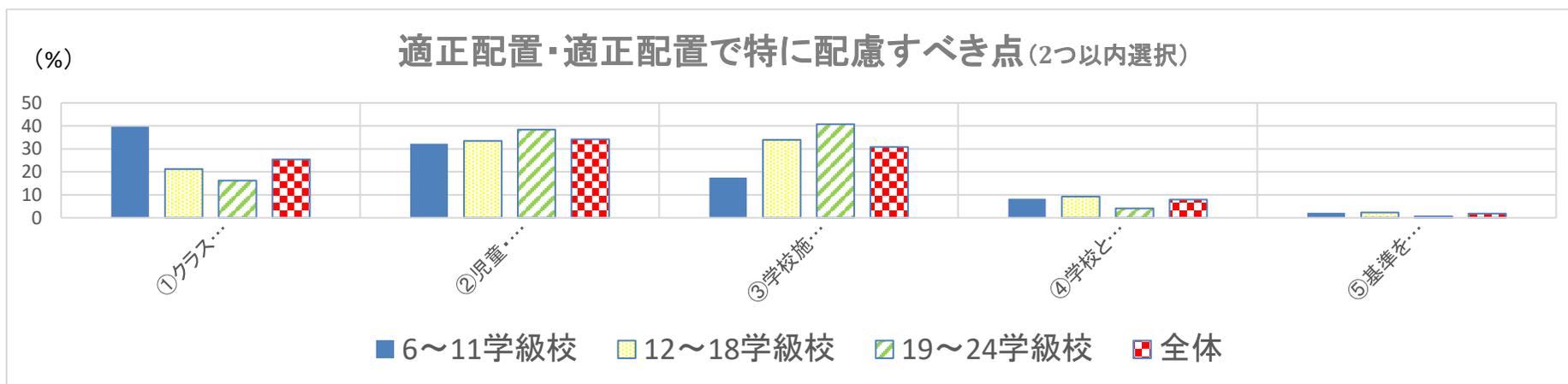


👉 2~3 学級程度が望ましい理由として、「③クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる。」挙げた割合が最も高く、次いで「②児童一人ひとりに目が行き届き、きめ細やかな指導が行われる。」の割合が高い。

👉 4~5 学級程度が望ましい理由として、「③クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる。」挙げた割合が最も高く、次いで「②児童一人ひとりに目が行き届き、きめ細やかな指導が行われる。」の割合が高い。

【問6】学校の適正な規模や配置の基準を設けるにあたり、特に配慮すべき点と思われるものをお選びください。(選択は2つ以内、上位2項目を網掛け)

		6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校		全体	
		回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)
1	クラス替えができる程度の児童生徒数の確保	91	39.7	92	21.2	28	16.2	211	25.4
2	児童・生徒の通学(距離・方法)とその安全性の確保	74	32.3	145	33.4	66	38.4	285	34.1
3	学校施設の充実	40	17.5	147	33.9	70	40.7	257	30.8
4	学校と地域のつながり	19	8.3	40	9.2	7	4.1	66	7.9
5	基準を設ける必要はない	5	2.2	10	2.3	1	0.6	16	1.8
合計		229	100	434	100	172	100	835	100



- どの学校規模においても、「②児童・生徒の通学(距離・方法)とその安全性の確保」の割合が平均的に高く、全体では最も高い。
- 6～11 学級の学校では、「①クラス替えができる程度の児童生徒数の確保」の割合が約 40%で最も高い。
- 19～24 学級の学校では、「③学校施設の充実」の割合が約 40%で最も高い。

【自由意見】子ども達の視点から考える最適な学校の規模・配置について

- ・人数が少なければ統廃合という考え方はいかがか。地域には学校が必要な場合がある。
- ・極端に人数が少ない学校は統廃合して、人間関係を配慮すべき。(地域の声もあり難しいと思うが)
- ・クラス替えがあるほうが色々な友達ができて良いと思う反面、統廃合すると校区が広がり通学面が心配。
- ・安全に通学できる距離。先生が生徒の人数を覚えられる人数。生徒に目が行き届く人数。

- ・校区の縛りをなくし、一番近い学校に通学する。そのほうが通学路がより安全になる。(2)
- ・ある程度の人数は必要だが、統合には反対。学校間の交流を増やし、児童を短期間交換留学させたりしてお互いに刺激を受ければいい。
- ・校区、地域にあったものが大事。
- ・統廃合により校区が広がるのは安心面からも良くない。(2)小規模だからこそ地域のつながりがある。
- ・地域性や学校の歴史的背景よりも「子どものために」を一番に考えてほしい。
- ・統廃合で母校が再編されるのは反発も予想されるが、きちんと話し合いの場を設け、子どもの学校生活を第一に考えるべき。
- ・学校が選択できない為、どの学校でも平等に教育を受けることができるよう細かな点に気を付けていただきたい。
- ・現在の校区は子どもが安全に通える距離で配置されていると思うので統廃合には反対。1クラスの集団の大きさを考えるべき。
- ・クラス替えができる程度の児童数の確保が必要だが、その為に隣接校と合併といった安易なことはしないでほしい。
- ・支援学級の児童を児童数とカウントしないことで1クラスの人数が40人を超えることが起きているので、その対応をしっかりとしてほしい。
- ・全学年2クラスは必要。(2)運動会で1学級を紅白に分けるのはかわいそう。
- ・クラス替えがないと人間関係の育成に偏りがでたり、問題が生じたとき、学年が変わっても逃げ場を失うことになる。
- ・現在1クラスのため、人間関係でトラブルが生じたとき不安なので、2～3学級はあってほしい。
- ・1クラスでは友達と合う合わないがあるため少なすぎる。
- ・1クラスでは子どもにとってじごく。リーダーはずっとリーダー、下っ端はずっと下っ端。目が届く範囲、人数は最も大事だと思う。
- ・2～3クラスあると色々な友達ができいいと思う。
- ・1学年4～5学級が望ましい。1学年1クラスは学校運営、先生の負担を考えても良くなはい。
- ・統廃合により通学距離が長くなる場合は、通学方法について検討を。
- ・学区の見直し、スクールバス等で学校の統合を進め、3,4クラス30人学級程度でクラス替えができる環境が整った地域に差のない学校規模調整を。
- ・中学校区が2つにわかれてしまうので辛い。少ない人数が分かれてしまうのでかわいそう。(3)
- ・1学級の人数を30人ぐらいにしてほしい。(5)
- ・1クラスの人数が多いと目が行き届かないうえ先生の負担も増えるので、1クラス20人台がよい。
- ・1クラス30以内で3学級が理想的。(2)
- ・1クラス40人を超えているのでもう少しゆったりしてほしい。(6)
- ・35人学級にしてほしい。(5)
- ・2～3クラスで35人学級。徒歩30分以内がいい。
- ・1クラスの人数をもっと減らすべき。少人数制を取り入れ、目が行き届く人数にすべき。(15)
- ・多人数の学級になるのは防いでいただきたい。
- ・学級数よりも1クラスの児童数を考えるべき。(3)

3. 児童

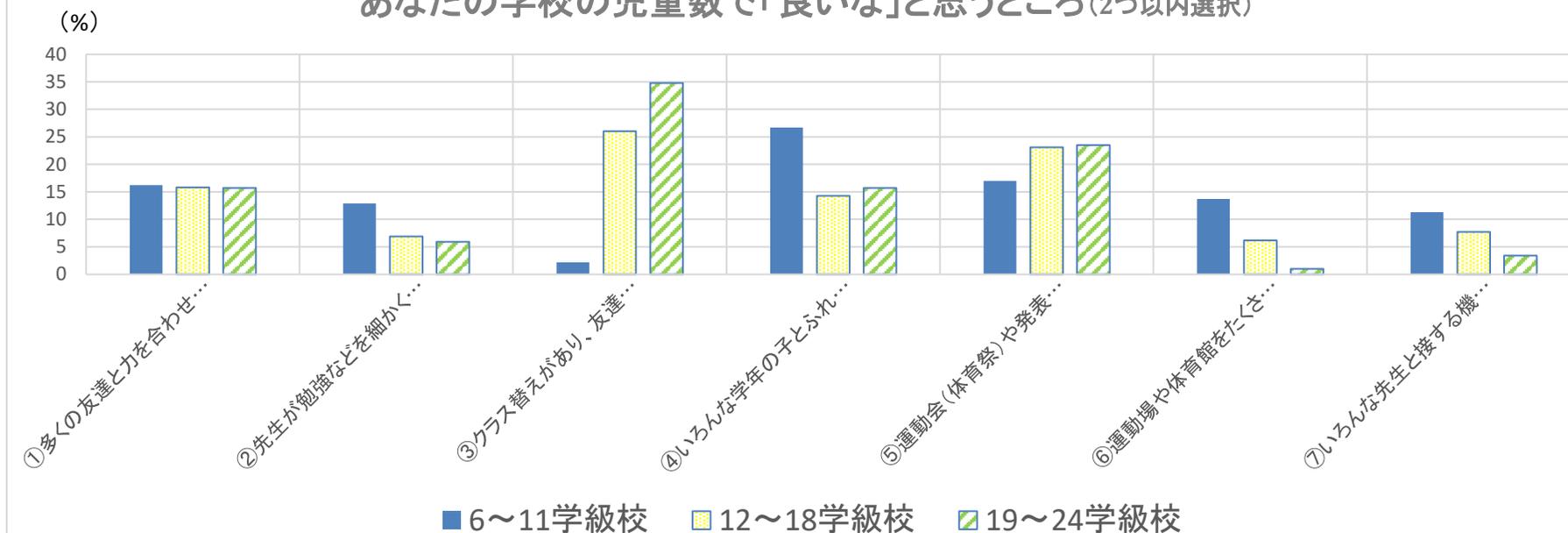
【問2】あなたが通っている学校の児童数で「良いな」と思うところがありますか。(選択は2つ以内、上位2項目を網掛け)

		6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	多くの友達と力を合わせて勉強や運動ができることが多い。	60	16.2	114	15.8	32	15.7
2	先生が勉強などを細かく指導してくれる。	48	12.9	49	6.9	12	5.9
3	クラス替えがあり、友達がたくさんできる。	8	2.2	186	26.0	71	34.8
4	いろいろな学年の子とふれあう機会が多い。	99	26.7	102	14.3	32	15.7
5	運動会(体育祭)や発表会などの行事がもりあがる。	63	17.0	165	23.1	48	23.5
6	運動場や体育館をたくさん使える。	51	13.7	44	6.2	2	1.0
7	いろいろな先生と接する機会が多い。	42	11.3	55	7.7	7	3.4
合計		371	100	715	100	204	100

その他の意見

- ・クラスが少ないので学校の子と接しやすい。(6～11 学級校)
- ・クラス替えがないので、仲良しのこと6年間一緒に入れる。(6～11 学級校)
- ・クラスが一つだから友達のいいところをすぐ知れる。(6～11 学級校)
- ・他の学年の子の名前もほとんどわかる。(6～11 学級校)
- ・人数が少ないから教室が広い。(6～11 学級校)
- ・友達がたくさん増えて楽しい。(12～18 学級校)
- ・男女仲がいい。高学年が低学年にやさしい。(12～18 学級校)
- ・みんなで話し合っ、みんなでかいけつする。(12～18 学級校)
- ・2クラスしかないので外での遊びがいっぱいできる。(12～18 学級校)
- ・にぎやかでいいなと感じる。(19～24 学級)
- ・みんなで助け合えるところ。(19～24 学級)
- ・人数が多いから友達がたくさんできる。(19～24 学級)

あなたの学校の児童数で「良いな」と思うところ(2つ以内選択)



- 🗨️ 6~11 学級の学校は、他の学校規模よりも「②先生が勉強などを細かく指導してくれる。」や「④いろいろな学年の子とふれあう機会が多い。」、「⑥運動場や体育館をたくさん使える。」の割合が高い。
- 🗨️ 12~18 学級、19~24 学級の学校は、「③クラス替えがあり、友達がたくさんできる。」の割合が最も高い。
- 🗨️ 「①多くの友達と力を合わせて勉強や運動ができることが多い。」はどの学校規模でも同程度の割合。

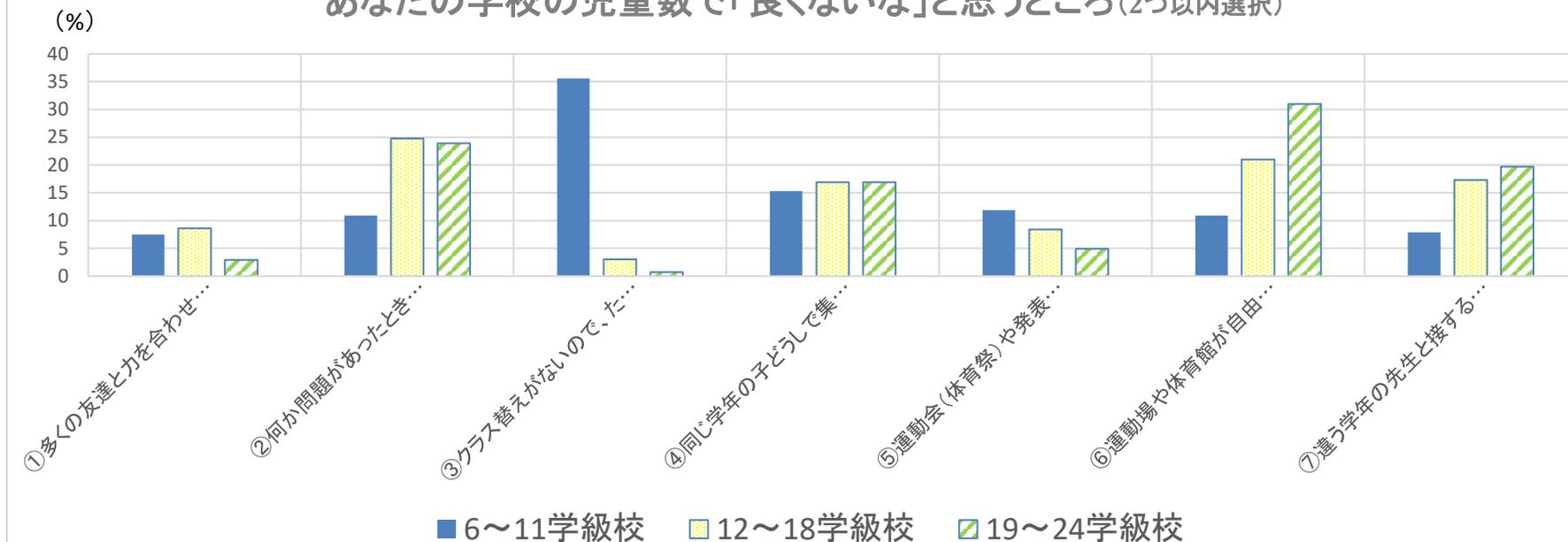
【問3】あなたが通っている学校の児童数で「良くないな」と思うところがありますか。(選択は2つ以内、上位2項目を網掛け)

		6～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	多くの友達と力を合わせて勉強や運動ができることが少ない。	15	7.5	40	8.6	4	2.9
2	何か問題があったときに、先生に気づかれにくい。	22	10.9	116	24.8	34	23.9
3	クラス替えがないので、たくさんの友達を作りにくい。	72	35.6	14	3.0	1	0.7
4	同じ学年の子どうしで集まりやすい。	31	15.3	79	16.9	24	16.9
5	運動会(体育祭)や発表会のプログラムが少ないので、少し物足りない。	24	11.9	39	8.4	7	4.9
6	運動場や体育館が自由に使いにくい。	22	10.9	98	21.0	44	31.0
7	違う学年の先生と接する機会が少ない。	16	7.9	81	17.3	28	19.7
合計		202	100	467	100	142	100

その他の意見

- ・1学年が少ないから友達があまり多くない。(6～11 学級校)
- ・児童数が少ない。(12～18 学級校)
- ・1クラスの数が多し。(12～18 学級校)
- ・児童数が多く、外で休み時間にボールが蹴れない。(12～18 学級校)
- ・1クラスの児童数が多く教室が狭い。(19～24 学級)
- ・校舎のせいでたくさんの遊具が使えなくなった。(19～24 学級)
- ・運動場が狭い。(19～24 学級)

あなたの学校の児童数で「良くないな」と思うところ(2つ以内選択)



- 🗨️ 6～11 学級の学校は、他の学校規模よりも「③クラス替えがないので、たくさんの友達を作りにくい。」の割合が最も高い。
- 🗨️ 12～18 学級、19～24 学級の学校は、6～11 学級の学校よりも、「②何か問題があったときに、先生に気づかれにくい。」と「⑦違う学年の先生と接する機会が少ない。」の割合が高い。
- 🗨️ 19～24 学級の学校は「⑥運動場や体育館が自由に使いにくい。」の割合が31%で最も高い。

4. 全体のまとめ【小学校】

本アンケート調査の結果から、教職員、保護者、児童の意識について以下のようなことが確認された。

① 現在勤務・通学している学校の「良いところ」、「課題があるところ」について

「良いところ」

6～11 学級の学校について、教職員、保護者ともに「児童一人ひとりに目が行き届き、きめ細やかな指導が行われている。」や「学校が一体となって活動しやすい。」と回答した割合が高く、児童では「色々な学年の子とふれあう機会が多い」と回答した割合が高かった。いずれも一般的に小規模校のメリットとして挙げられる項目が上位を占めた。

12～18 学級、19～24 学級の学校について、教職員、保護者、児童ともに「クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる。」と回答した割合が高かった。

保護者では、どの学校規模においても「異学年の縦の交流が盛んである。」と回答した割合が最も高く、小規模校のメリットとして挙げられる項目が本市の小学校ではどの学校規模でもあてはまる傾向があった。

「課題があるところ」

6～11 学級の学校について、教職員、保護者ともに「クラス替えができず、人間関係が固定化している。」、児童では「クラス替えがないので、たくさんの友達を作りにくい。」と回答したが割合が高かった。クラス替えについては、12～18 学級や 19～24 学級の学校では「良いところ」として挙げられていたが、6～11 学級の学校ではクラス替えがないことが「課題」として捉えられている。

19～24 学級の学校について、教員では「運動場や体育館が過密になり、活動に制限が生じやすい。」、児童では「運動場や体育館が自由に使いにくい。」と回答した割合が高く、児童数が多いことによる施設面での大規模校のデメリットが多数を占めた。

② 子どもたちにとって望ましい学級数とその理由について

学級数

全て学校規模において、教職員、保護者ともに「2～3学級程度」(全体で 12～18 学級)と回答した割合が最も高く全体の約7割を占めた。次に「4～5学級程度」(全体で 24～30 学級)と回答した割合が高く、全体の約2.5割を占めた。

理由

「2～3学級程度」または「4～5学級程度」が望ましい理由として、教職員、保護者ともに「クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる。」と回答した割合が最も高かった。

③ **規模が大きい、小さい学校に対する望ましい対応について(教職員のみ)**

大きい学校

全て学校規模において、「通学区の見直しを行う」と回答した割合が高く、全回答の約半数を占めた。

小さい学校

全て学校規模において、「通学区の見直しを行う」と回答した割合が高く、全回答の約半数を占めた。

④ **学校の適正規模・配置を進めるうえで重視(配慮)すべき点について**

教職員では「児童生徒数や学級数の多い少ない」を重視すると回答した割合が最も高かったが、保護者では「児童の通学(距離・方法)とその安全性の確保」を配慮すべき点と回答した割合が最も高かった。

⑤ **【自由意見】子どもたちにとって最適な学校規模・配置について**

教職員

様々な意見がある中で、「学級数の問題ではなく、学級人数の見直しを図るべき」や「35人学級になるともう少しゆとりのある学級づくりができる」等、学級規模に関する意見が多数あった。自由意見に記述があった回答の約7割が学級規模について言及する意見であった。

保護者

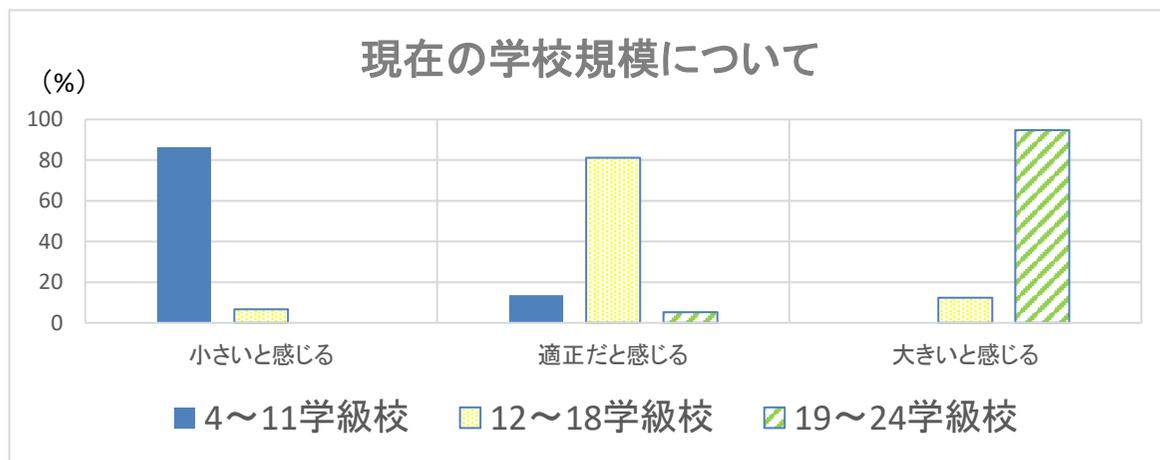
望ましい学級数や安全な通学路に関する意見、統廃合、通学区に関する意見等様々な意見がある中で、「1クラスの人数をもっと減らすべき」や「35人学級にしてほしい」といった学級規模に関する意見が、教職員の自由意見と同様に多数を占めた。自由意見に記述があった回答の約6割が学級規模について言及する意見であった。

Ⅲ. 調査結果【中学校】

1. 教職員

【問2】現在勤務されている学校の規模(支援学級除く通常の学級数)についてどう感じていますか。

		4～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	小さいと感じる	19	86.4	7	6.6		0.0
2	適正だと感じる	3	13.6	86	81.1	1	5.3
3	大きいと感じる		0.0	13	12.3	18	94.7
合計		22	100	106	100	19	100



🔊 【適正】であると感じている学校は、12～18 学級の学校で 81.1%と最も高い。

🔊 【小さい】と感じている学校は、4～11 学級の学校で 86.4%と最も高い。

🔊 【大きい】と感じている学校は、19～24 学級の学校で 94.7%と最も高い。

【問3】問2に対してどのような時にそう感じますか。あれば具体的にご記入ください。

- ・活動時、先生の数が足りないとき。部活、生徒会等の行事で生徒にとっても役割が多く、忙しくしている姿を見たとき。(小さい)
- ・全校集会で、生徒の数を見たとき。(小さい)
- ・行事の時、競えない。(小さい)
- ・体育大会や合唱コンクールの時。(小さい)
- ・行事など、クラス対抗して競い合ったりするので「勝ちたい！」となりクラスに活気が出る。(適正)
- ・大規模校(10クラス)と小規模校(3クラス)を経験し、今(5~6クラス)が学年で目が届く範囲と考えるから。(適正)
- ・授業時間と教員の配置のバランスが取れている。(適正)
- ・全校集会が狭い。文化祭や合唱コンクール等の学年集合での行事が難しい。(大きい)
- ・学年の生徒全員の名前を覚えることができない。(大きい)
- ・授業に入っていない生徒の名前、顔を覚えられない。(大きい)

【問4】現在勤務されている学校規模の「良い」と思われるものをお選びください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

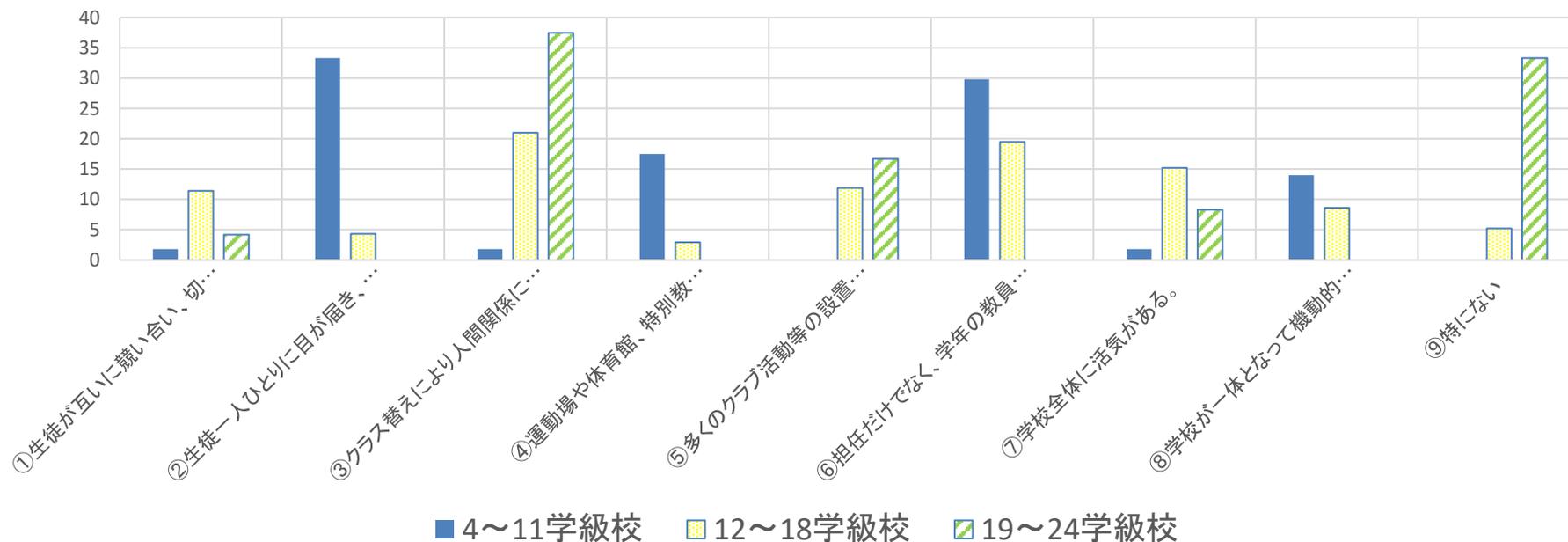
		4~11 学級校		12~18 学級校		19~24 学級校	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	生徒が互いに競い合い、切磋琢磨する機会が多い。	1	1.8	24	11.4	1	4.2
2	生徒一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が行いやすい。	19	33.3	9	4.3		0.0
3	クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達がたくさんできる。	1	1.8	44	21.0	9	37.5
4	運動場や体育館、特別教室、教材備品など余裕を持って利用できる。	10	17.5	6	2.9		0.0
5	多くのクラブ活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がる。		0.0	25	11.9	4	16.7
6	担任だけでなく、学年の教員が児童生徒の様子を把握できる。	17	29.8	41	19.5		0.0
7	学校全体に活気がある。	1	1.8	32	15.2	2	8.3
8	学校が一体となって機動的に活動しやすい。	8	14.0	18	8.6		0.0
9	特にない。		0.0	11	5.2	8	33.3
合計		57	100	210	100	24	100

10 その他の意見

- ・校務分掌が分担できる。(12~18 学級校)

現在の学校規模の「良い」と思うもの(3つ以内選択)

(%)



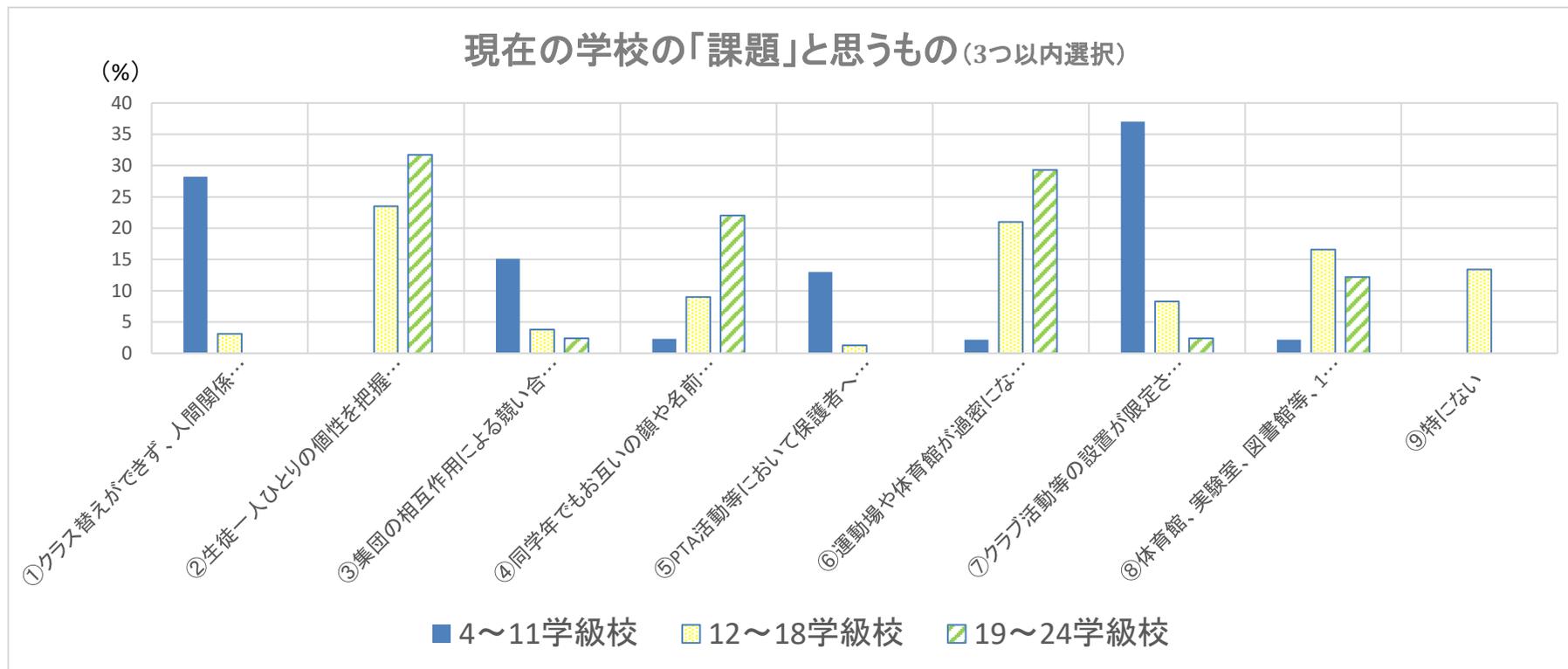
- 4～11 学級の学校では、「②生徒一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が行いやすい。」や「⑥担任だけでなく、学年の教員が児童生徒の様子を把握できる。」の割合が高い。
- 12～18 学級の学校では、「③クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達がたくさんできる。」や「⑥担任だけでなく、学年の教員が児童生徒の様子を把握できる。」の割合が高い。
- 19～24 学級の学校では、「③クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達がたくさんできる。」や「⑤多くのクラブ活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がる。」の割合が高い。

【問5】現在勤務されている学校規模の「課題」と思われるものをお選びください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

	4～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1 クラス替えができず、人間関係が固定化しやすい。	13	28.2	5	3.1		0.0
2 生徒一人ひとりの個性を把握し、きめ細やかな指導を行うことが難しい。		0.0	37	23.5	13	31.7
3 集団の相互作用による競い合い、切磋琢磨する機会が少ない。	7	15.1	6	3.8	1	2.4
4 同学年でもお互いの顔や名前を知らない等、児童生徒間の人間関係が希薄化しやすい。	1	2.3	14	9.0	9	22.0
5 PTA 活動等において保護者への負担が大きい。	6	13.0	2	1.3		0.0
6 運動場や体育館が過密になり、活動に制限が生じやすい。	1	2.2	33	21.0	12	29.3
7 クラブ活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。	17	37.0	13	8.3	1	2.4
8 体育館、実験室、図書館等、1 学級当たり各施設の十分な割り当てが難しい。	1	2.2	26	16.6	5	12.2
9 特にない。		0.0	21	13.4		0.0
合計	46	100	157	100	41	100

10 その他の意見

- ・学年 60 人前後しかいないので。クラス替えをしてもあまり変わりなく、社会性が育ちにくい。(4～11 学級校)
- ・40 人を超えているクラスは教室が狭く、3年生は体も大きくなり窮屈に感じる。学習への影響もある。(12～18 学級校)
- ・1 クラス 40 人を超えており、1 人で見える生徒の数が多すぎる。(19～24 学級校)



🗨️ 4～11 学級の学校では、「⑦クラブ活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。」が最も割合が高く、次いで「①クラス替えができません、人間関係が固定化しやすい。」の割合が高い。

🗨️ 12～18 学級の学校では、「②生徒一人ひとりの個性を把握し、きめ細やかな指導を行うことが難しい。」や「⑥運動場や体育館が過密になり、活動に制限が生じやすい。」の割合が高い。また、「⑨特にない。」の割合が他の学校規模と比べて高い。

🗨️ 19～24 学級の学校では、「②生徒一人ひとりの個性を把握し、きめ細やかな指導を行うことが難しい。」が最も高く、次いで「⑥運動場や体育館が過密になり、活動に制限が生じやすい。」の割合が高い。また、「④同学年でもお互いの顔や名前を知らない等、児童生徒間の人間関係が希薄化しやすい。」の割合が他の学校規模と比べて高い。

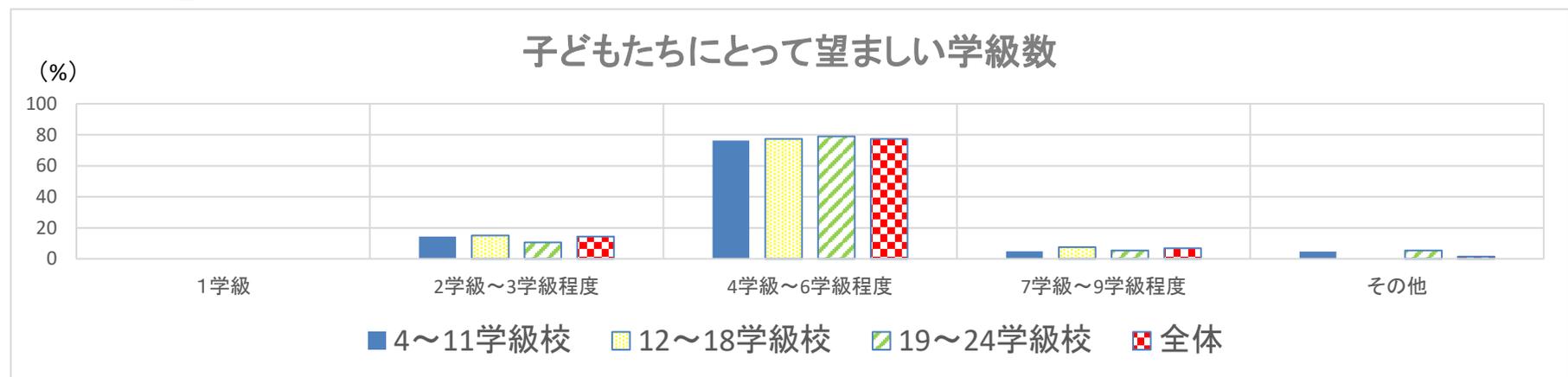
【問6】子どもたちにとって望ましいと思う学級数を1つお選びください。(1学年あたり)

		4～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校		全体	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	1学級		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	2学級～3学級程度	3	14.3	16	15.1	2	10.5	21	14.4
3	4学級～6学級程度	16	76.2	82	77.4	15	78.9	113	77.4
4	7学級～9学級程度	1	4.8	8	7.5	1	5.3	10	6.8
5	その他	1	4.7		0.0	1	5.3	2	1.4
合計		21	100	106	100	19	100	146	100

5 その他の内訳

4学級:1

1クラス 30人程度:1



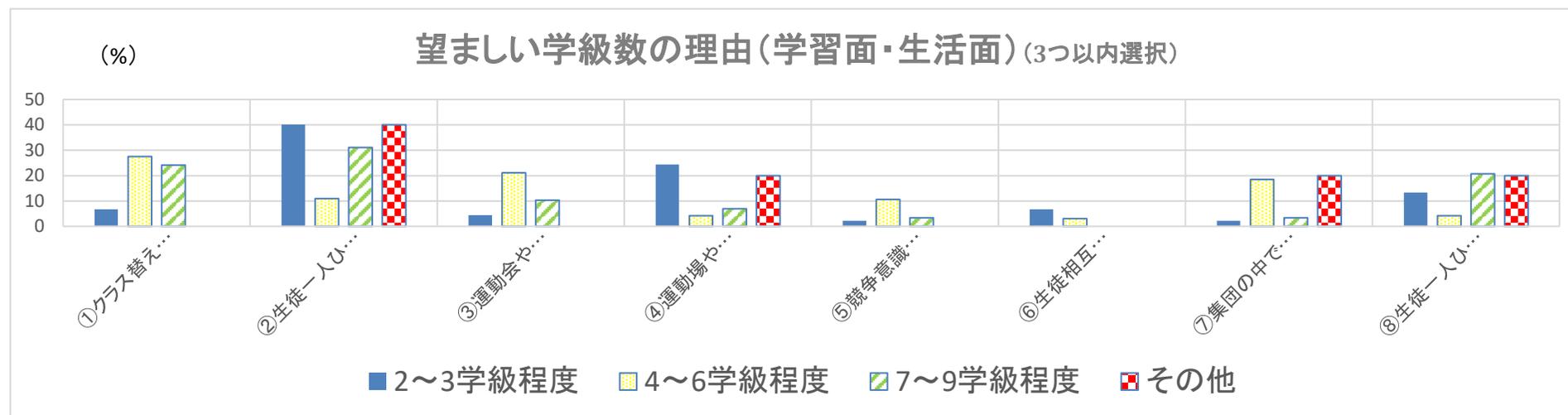
🗨️ どの学校規模においても、「4学級～6学級程度」が望ましいと回答した割合が最も高く、全体でも77.4%となっている。

🗨️ 「2学級～3学級程度」が次いで割合が高く、全体で14.4%となっている。

🗨️ 「7学級～9学級」は、全体で6.8%となっており、「1学級」の回答者はなかった。

【問7】問6の理由(学習面・生活面)をお聞かせください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

		2～3 学級程度		4～6 学級程度		7～9 学級程度		その他	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる。	3	6.7	73	27.5	7	24.2		0.0
2	生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい。	18	40.1	29	10.9	9	31.1	2	40.0
3	運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる。	2	4.4	56	21.1	3	10.3		0.0
4	運動場や体育館、特別教室、教材備品など余裕を持って利用できる。	11	24.4	11	4.2	2	6.9	1	20.0
5	競争意識が高まることで、児童・生徒が互いに切磋琢磨したくましさ等を育みやすい。	1	2.2	28	10.6	1	3.4		0.0
6	生徒相互の人間関係が深まりやすく、また異なった学年との縦の交流が生まれやすい。	3	6.7	8	3.0		0.0		0.0
7	集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性を身につけることができる。	1	2.2	49	18.5	1	3.4	1	20.0
8	生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。	6	13.3	11	4.2	6	20.7	1	20.0
合計		45	100	265	100	29	100	5	100

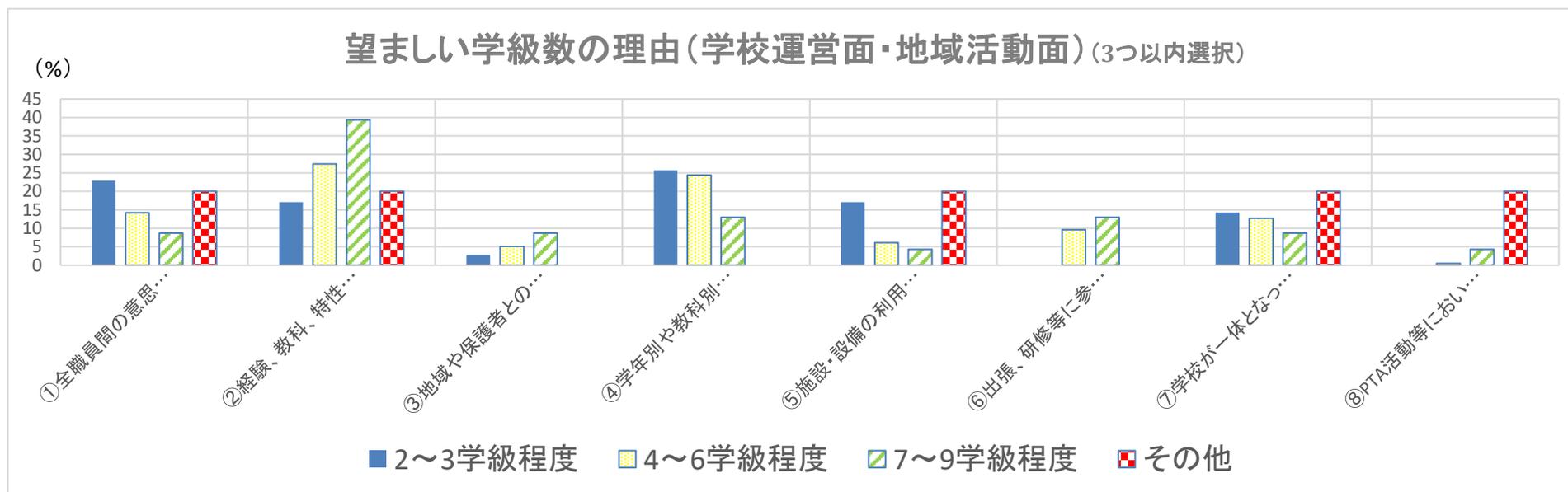


☞ 2～3 学級程度が望ましい理由として、「②生徒一人ひとりに目が行き届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。」を挙げた割合が最も高く、次いで、「④運動場や体育館、特別教室、教材備品など余裕を持って利用できる。」となっている。

☞ 4～6 学級程度及び 7～9 学級程度が望ましい理由として、「①クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる。」を挙げた割合が高くなっている。

【問8】問6の理由(学校運営面・地域活動面)をお聞かせください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

		2～3 学級程度		4～6 学級程度		7～9 学級程度		その他	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	全職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。	8	22.9	28	14.2	2	8.7	1	20.0
2	経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教員配置を行いやすい。	6	17.1	54	27.4	9	39.3	1	20.0
3	地域や保護者との関係が強くなり、開かれた学校づくりができる。	1	2.9	10	5.1	2	8.7		0.0
4	学年別や教科別の教職員同士で学習指導や生活指導についての相談等がしやすい。	9	25.7	48	24.4	3	13.0		0.0
5	施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。	6	17.1	12	6.1	1	4.3	1	20.0
6	出張、研修等に参加しやすい。		0.0	19	9.6	3	13.0		0.0
7	学校が一体となって活動しやすい。	5	14.3	25	12.7	2	8.7	1	20.0
8	PTA 活動等において、役割分担により、保護者の負担を軽減しやすい。		0.0	1	0.5	1	4.3	1	20.0
合計		35	100	197	100	23	100	5	100



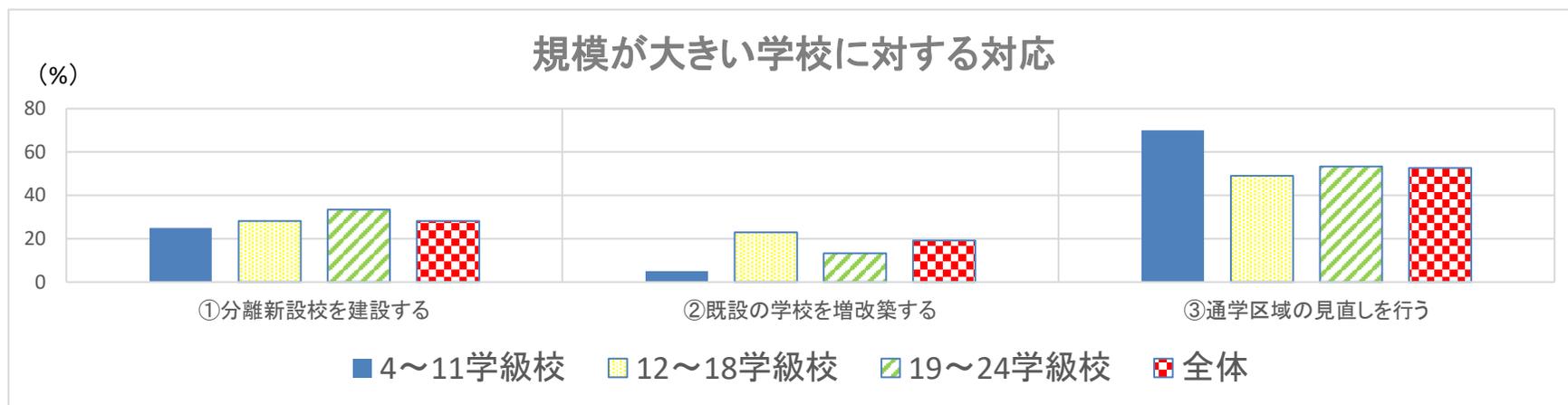
🔊 4～6 学級程度又は 7～9 学級程度が望ましい理由として、「②経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教員配置を行いやすい。」と「④学年別や教科別の教員同士で学習指導や生活指導についての相談等がしやすい。」を選択した割合が高い。

【問9】規模が大きい学校に対する対応として望ましいと思うものを1つお選びください。

		4～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校		全体	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	分離新設校を建設する。	5	25.0	27	28.1	5	33.4	37	28.2
2	既設の学校を増改築する。	1	5.0	22	22.9	2	13.3	25	19.1
3	通学区域の見直しを行う。	14	70.0	47	49.0	8	53.3	69	52.7
合計		20	100	96	100	15	100	131	100

その他の意見

- ・個々の状況に応じて対応。
- ・プレハブを増設し、対応する。



どの学校規模においても、「③通学区域の見直しを行う。」の割合が高く、全体の約半数を占める。

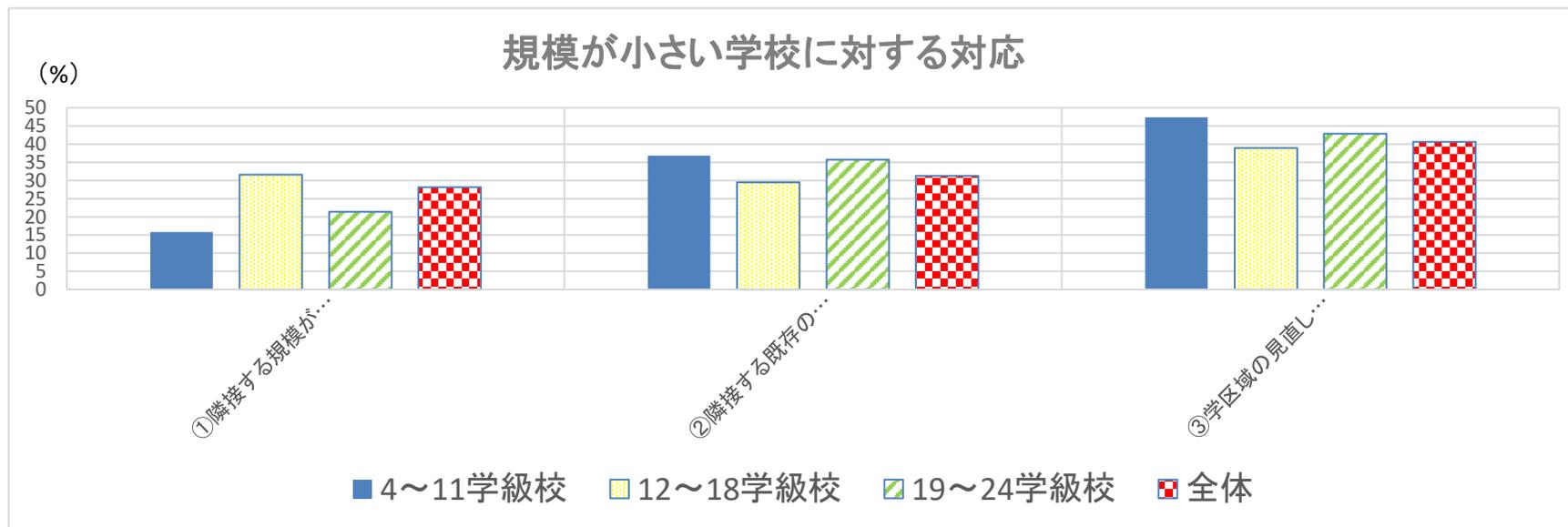
次いで「①分離新設校を建設する。」が3割程度を占め、「②既設の学校を増改築する。」は全体の約2割。

【問 10】規模が小さい学校に対する対応として望ましいと思うものを1つお選びください。

		4～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校		全体	
		回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)
1	隣接する規模が小さい学校同士を統合し、新たな学校を新設する。	3	15.8	30	31.6	3	21.4	36	28.1
2	隣接する既存の学校に統合する。	7	36.8	28	29.5	5	35.7	40	31.3
3	通学区域の見直しを行う。	9	47.4	37	38.9	6	42.9	52	40.6
合計		19	100	95	100	14	100	128	100

その他の意見

- ・1～3の項目にこだわらず、子どもたちにとって最も良い方法を個別に対応していく。
- ・通学区をとり、選択できるようにする。
- ・小規模特認校として、多様なニーズにこたえる。
- ・市内の他中学校の部活動に参加していい形を整える。

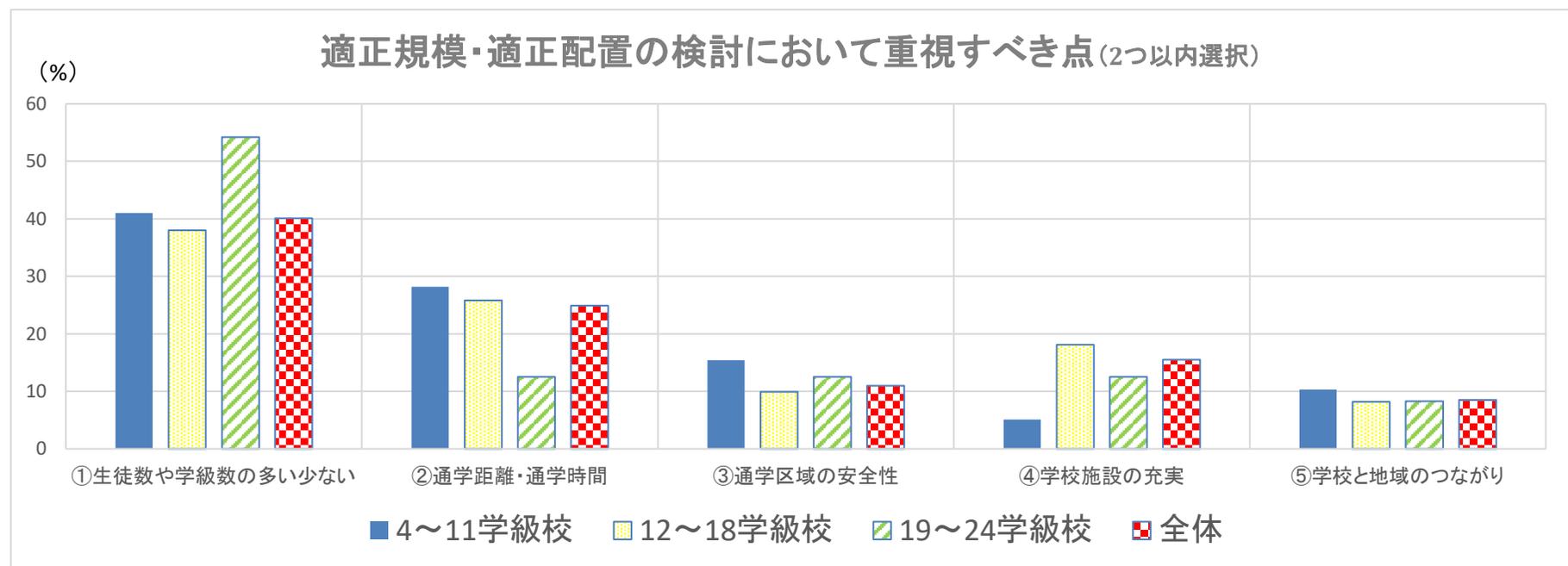


👉 どの学校規模においても、「③通学区域の見直しを行う。」の割合が高く、全体の4割～5割を占める。

👉 「①新たな学校の新設」と「②既存の学校に統合」の割合が同程度で、2割～3割程度を占める。

【問 11】学校の適正規模・適正配置を検討する上で、特に重視すべき点をお選びください。(選択は2つ以内、上位2項目を網掛け)

	4～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校		全体	
	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)
1 児童生徒数や学級数の多い少ない	16	41.0	69	38.0	13	54.2	98	40.1
2 通学距離・通学時間	11	28.2	47	25.8	3	12.5	61	24.9
3 通学区域の安全性	6	15.4	18	9.9	3	12.5	27	11.0
4 学校施設の充実	2	5.1	33	18.1	3	12.5	38	15.5
5 学校と地域のつながり	4	10.3	15	8.2	2	8.3	21	8.5
合計	39	100	182	100	24	100	245	100



🗨️ どの学校規模においても、「①児童生徒数や学級数の多い少ない」の割合が最も高く、全体の約4割を占める。

🗨️ 次に、「②通学距離・通学時間」を重視する割合がどの学校規模でも高く、全体の約2.5割を占める。

【自由意見】教育的視点から考える学校の適正規模・適正配置について

- ・地域の学校という意識が強い状況にあるので、統廃合も困難であるとする。
- ・地域とのつながりも大事だが、学年1クラスの学校が2つも3つも出てくるのは防いでいくべき。
- ・人員の配置について、柔軟に配慮すべき。
- ・1つの学年に5教科(国、数、英、理、社)の常勤教員を配置すべき。
- ・規模の大小ではなく、1クラスに担任、副担任を付けるような人数で指導できれば細かい対応もできると思う。小さいから少ないでは意味がない。
- ・生徒数という単なる机上の数値だけでなく、学校の設備、環境等も加味して配置すべき。
- ・通学距離が遠い校区があり、下校が心配。そのため自転車通学が出たり、買い食いが出たりと指導が増える。通学手段を考える必要はある。
- ・中学校は教科別指導となるので、小規模では融通が利きにくい。成長発達、特に多感な中学生期の3か年は息苦しさを感ずる生徒もいる。
- ・小規模校に関しては、その規模に応じた学校側の受ける体制を整えれば対応できる。地域に変化や負担が大きく出ずにバランスの調整は行える。
- ・人間関係が固定しないような流動性が欲しい。規模が小さいと限られた価値観や人間関係の中で義務教育時代を過ごすことになる。20万人都市の岸和田市であれば、小中学校での9年間で多様な考え方に触れ、社会にはばたく人材育成を望む。
- ・開発の有無等も考慮した人口推移を見ながら将来の校区の姿を考えていく。
- ・必要に応じて個別に検討。適正化により通学区域が広がる場合は、自転車通学の認可のほか、スクールバス導入も検討すべき。
- ・4～6クラスが望ましい。集団生活の中でたくさんの価値観に触れてほしいから。
- ・各学年4クラス程度が望ましい。
- ・欧米の基準に少しでも近づけるなら、35人学級を実現し、職員の数を増やすことが先決。
- ・クラス数より1クラスの生徒の人数。今40人を超えているが、35人学級になればいい。
- ・40人学級は望ましくない。1クラスの生徒数を減らし、教員の数を増やして充当するのが望ましい。
- ・40人学級は時代遅れ。
- ・1学級40人を超えると実習等のグループワークがやりづらい。1学級30人程度が希望。
- ・現在41名の担任だが、なかなか目が行き届かず、35人になれば行き届くのかという自信はないが、現在心の余裕が全くない。
- ・学級人数を全体的に減らし、クラス数を増やしてほしい。40人近くを見るのは難しい。
- ・1クラス39人は少し多い。その人数が減れば一人ひとりを見ることができる。
- ・学校規模も大切だが、学級の人数を少なくしてほしい。

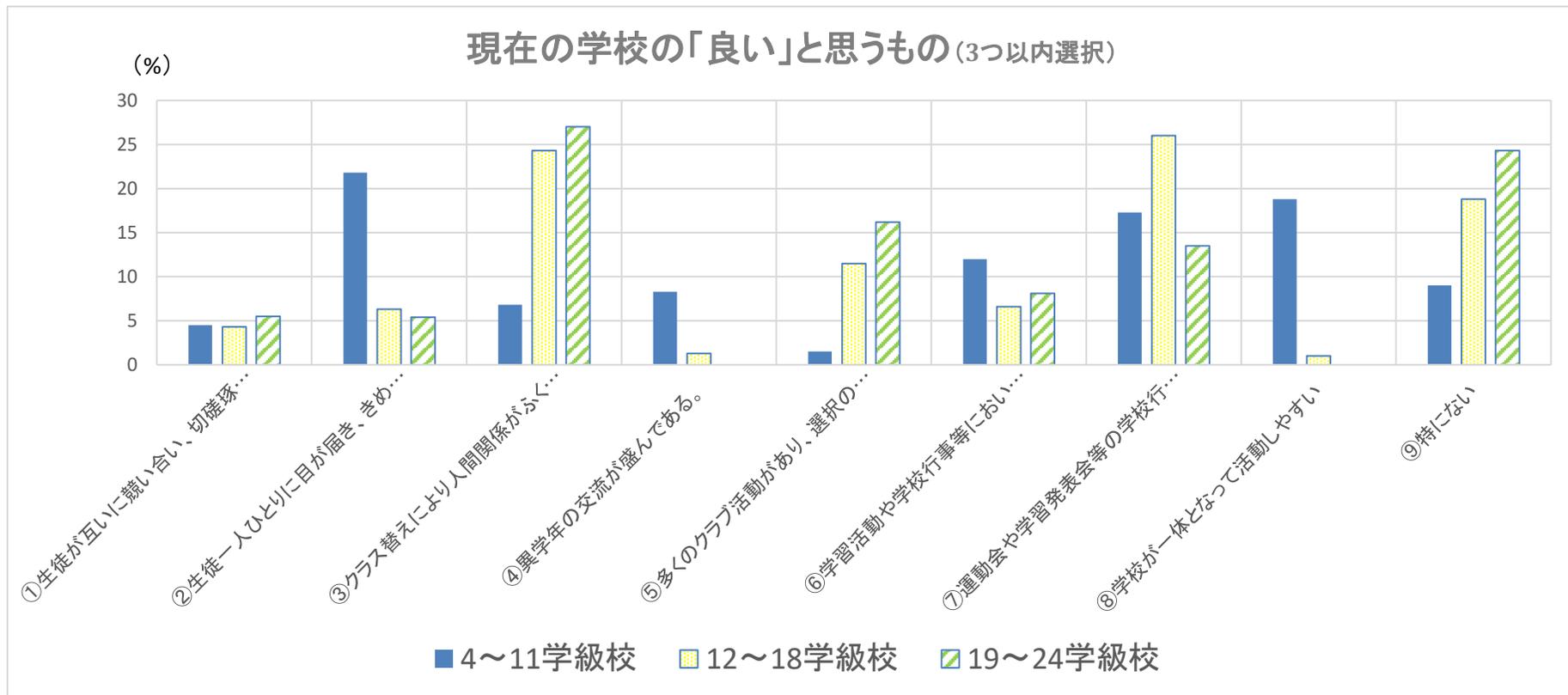
2. 保護者

【問2】お子さんが現在通学している学校の「良い」と思われるものをお選びください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

		4～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	生徒が互いに競い合い、切磋琢磨する機会が多い。	6	4.5	13	4.3	2	5.5
2	生徒一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が行われている。	29	21.8	19	6.3	2	5.5
3	クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる。	9	6.8	74	24.3	10	27.0
4	異学年の縦の交流が盛んである。	11	8.3	4	1.3		0.0
5	多くのクラブ活動があり、選択の幅が広い。	2	1.5	35	11.5	6	16.2
6	学習活動や学校行事等において、生徒一人ひとりの活躍や登場の機会が多い。	16	12.0	20	6.6	3	8.0
7	運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる。	23	17.3	79	26.0	5	13.5
8	学校が一体となって活動しやすい。	25	18.8	3	1.0		0.0
9	特にない。	12	9.0	57	18.8	9	24.3
合計		133	100	304	100	37	100

その他の意見

- ・学校と家庭の距離感が近く、気になることが気軽に相談できる。(4～11 学級校)
- ・人数は少ないが、人間関係が良い。ただ人間関係でもめた場合、クラス替えがないとしんどい。(4～11 学級校)
- ・2～3 学級あればいいと思うが、自分の子どもは1 学級の学校で、保護者と先生、先生と子どもの間が近い関係でありがたい学校生活を送れている。(4～11 学級校)
- ・生徒へのきめ細やかなケアをしてくださる先生が多い。(12～18 学級校)
- ・行事が非常に活動的で、先生方も熱心に指導してくれる。その代表が合唱コンクールで、いつも感動させられる。(12～18 学級校)



- 🗨️ 4～11 学級の学校では、「②生徒一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が行われている。」や「⑧学校が一体となって活動しやすい。」の割合が高い。
- 🗨️ 12～18 学級の学校では、「③クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる。」や、「⑦運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる。」の割合が高い。
- 🗨️ 19～24 学級の学校では、「③クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる。」や、「⑤多くのクラブ活動があり、選択の幅が広い。」の割合が高い。

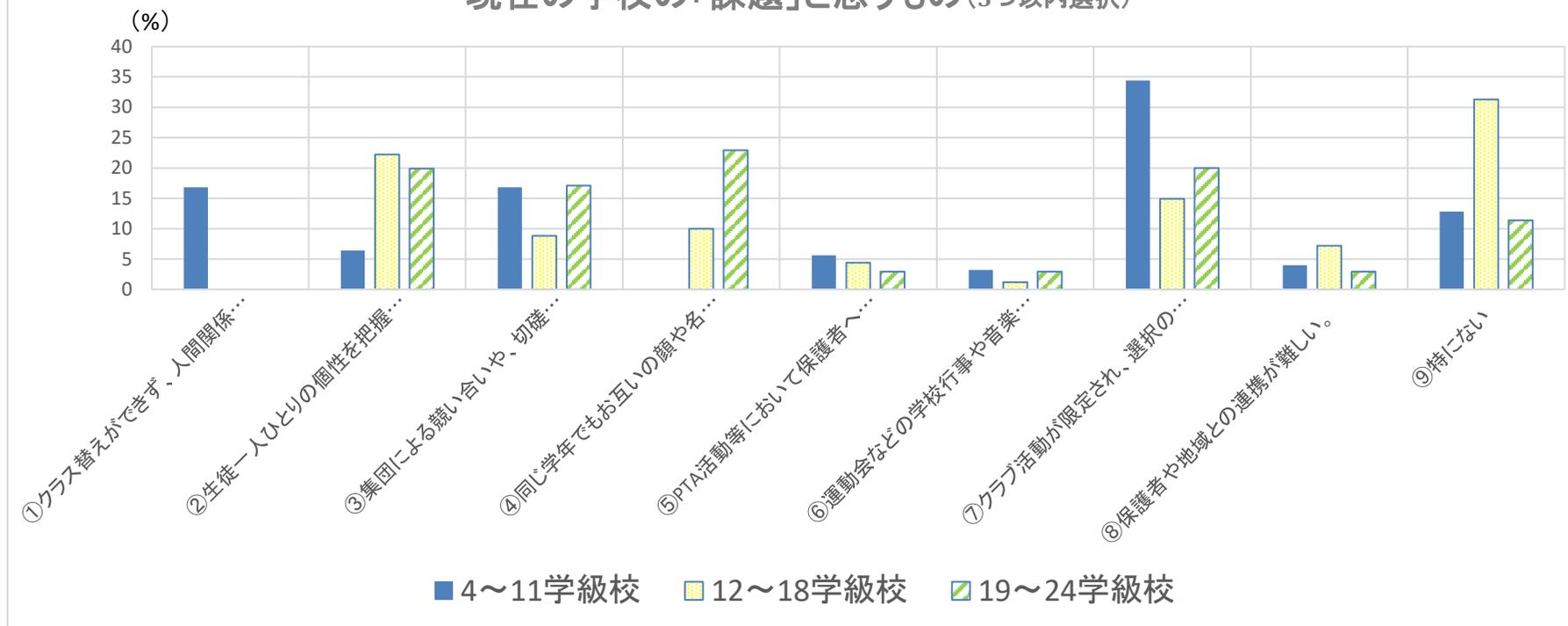
【問3】お子さんが現在通学している学校の「課題」と思われるものをお選びください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

	4～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1 クラス替えができず、人間関係が固定化している。	21	16.8		0.0		0.0
2 生徒一人ひとりの個性を把握し、きめ細やかな指導を行うことが少ない。	8	6.4	55	22.2	7	20.0
3 集団による競い合いや、切磋琢磨する機会が少ない。	21	16.8	22	8.8	6	17.0
4 同学年でもお互いの顔や名前を知らない等、生徒間のつながりが弱い。		0.0	25	10.0	8	22.9
5 PTA 活動等において保護者への負担が大きい。	7	5.6	11	4.4	1	2.9
6 運動会などの学校行事や音楽活動等の集団活動の時間に制約が生じる。	4	3.2	3	1.2	1	2.9
7 クラブ活動が限定され、選択の幅が狭い。	43	34.4	37	14.9	7	20.0
8 保護者や地域との連携が難しい。	5	4.0	18	7.2	1	2.9
9 特にない。	16	12.8	78	31.3	4	11.4
合計	125	100	249	100	35	100

その他の意見

- ・先生の学校施設の管理業務が多すぎる。管理業務を専門とする業者への対応等考えてもいいと思う。(4～11 学級校)
- ・人間関係に行き詰った時に逃げ場がなく、やり直しや殻を破ることが難しい。(4～11 学級校)
- ・1 学年 1 クラスで十分に先生目が届いているように思いがちだが、表面上だけのような気がする時がある。(4～11 学級校)
- ・1クラスの人数が多いので授業が大変そう。(19～24 学級校)

現在の学校の「課題」と思うもの(3つ以内選択)



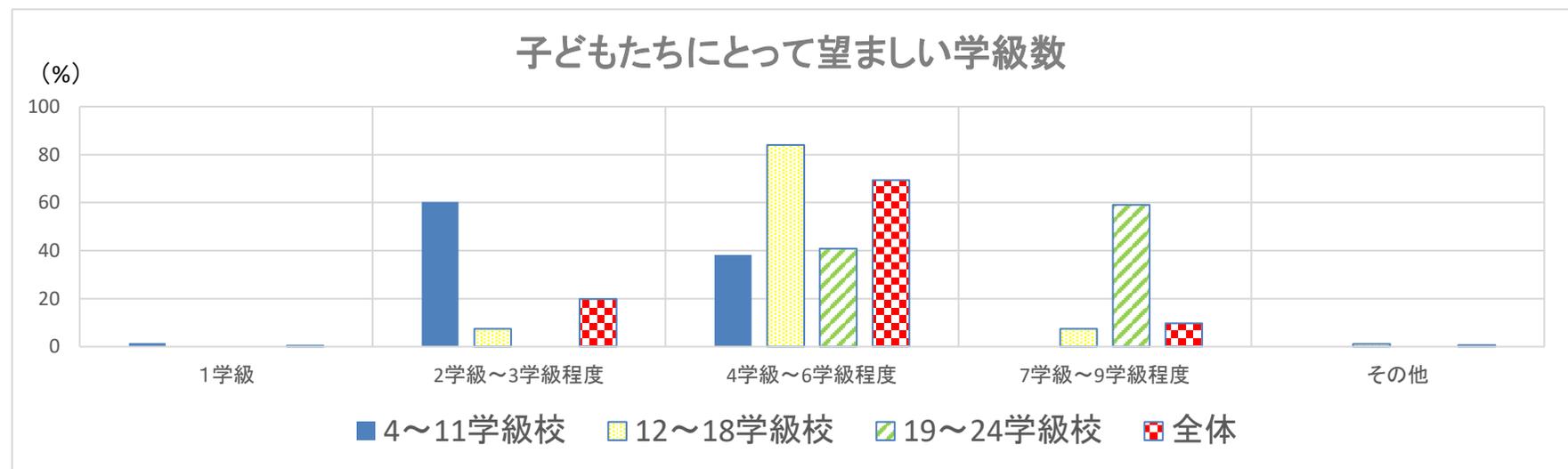
- 🗨️ 4～11 学級の学校では、「⑦クラブ活動が限定され、選択の幅が狭い。」の割合が最も高く、全体の約3.5割を占めている。次いで、「①クラス替えができず、人間関係が固定化している。」、「③集団による競い合いや、切磋琢磨する機会が少ない。」の割合が高い。
- 🗨️ 12～18 学級、19～24 学級の学校では、「②生徒一人ひとりの個性を把握し、きめ細やかな指導を行うことが少ない。」割合が、4～11 学級の学校よりも高い。
- 🗨️ 19～24 学級の学校では、「④同学年でもお互いの顔や名前を知らない等、生徒間のつながりが弱い。」の割合が最も高い。
- 🗨️ 12～18 学級の学校では、「⑨特にない」の割合が 31%と最も高い。

【問4】子どもたち(中学生)にとって1学年あたりどの程度の学級数が望ましいと思われますか。

		4～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校		全体	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	1学級	1	1.5		0.0		0.0	1	0.4
2	2学級～3学級程度	41	60.3	14	7.4		0.0	55	19.9
3	4学級～6学級程度	26	38.2	157	84.0	9	40.9	192	69.3
3	7学級～9学級程度		0.0	14	7.5	13	59.1	27	9.7
5	その他		0.0	2	1.1		0.0	2	0.7
合計		68	100	187	100	22	100	277	100

その他の内訳

1学級 30人程度:1、1学級の人数による:1



📌 全体では、「4～6学級程度」と回答した割合が最も高く69.3%。

📌 4～11 学級の学校では、「2～3学級程度」と回答した割合が最も高く60.3%。

📌 19～24 学級の学校では、「7～9学級程度」と回答した割合が最も高く59.1%。

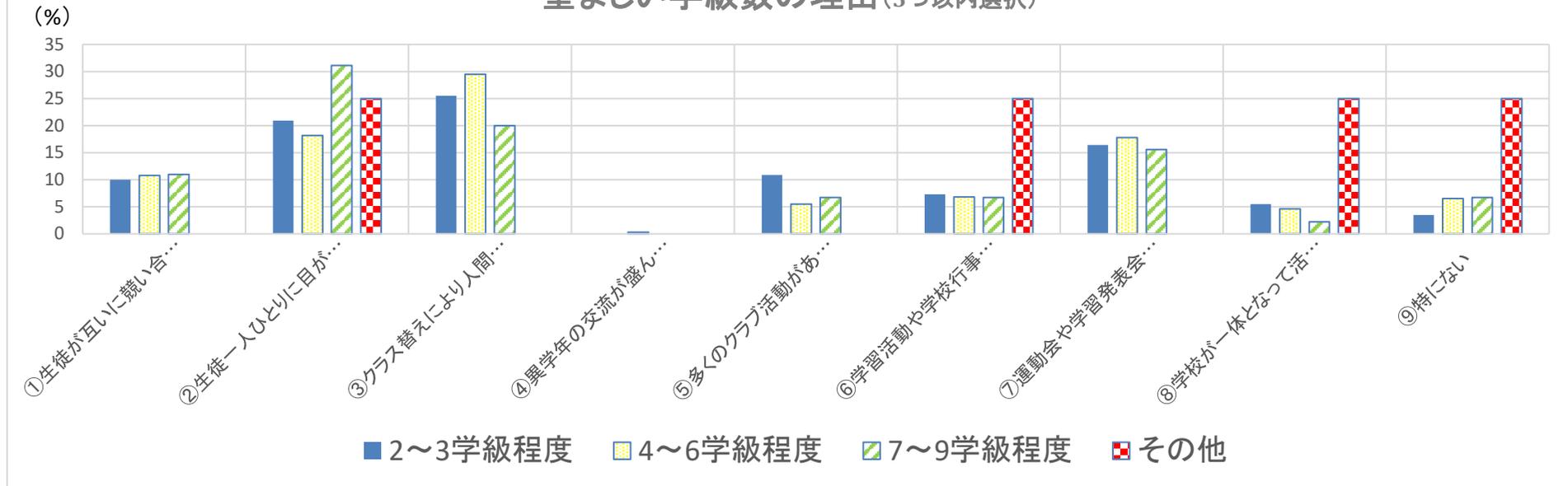
【問5】問4の理由をお聞かせください。(選択は3つ以内、上位3項目を網掛け)

		2～3 学級程度		4～6 学級程度		7～9 学級程度		その他	
		回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1	生徒が互いに競い合い、切磋琢磨する機会が多い。	11	10.0	35	10.8	5	11.0		0.0
2	生徒一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が行われる。	23	20.9	59	18.2	14	31.1	1	25.0
3	クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる。	28	25.5	96	29.5	9	20.0		0.0
4	異学年の交流が盛んになる。		0.0	1	0.3		0.0		0.0
5	多くのクラブ活動があり、選択の幅が広がる。	12	10.9	18	5.5	3	6.7		0.0
6	学習活動や学校行事等において、生徒一人ひとりの活躍や登場の機会が多くなる。	8	7.3	22	6.8	3	6.7	1	25.0
7	運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる。	18	16.4	58	17.8	7	15.6		0.0
8	学校が一体となって活動しやすい。	6	5.5	15	4.6	1	2.2	1	25.0
9	特にない。	4	3.5	21	6.5	3	6.7	1	25.0
合計		110	100	325	100	45	100	4	100

その他の意見

- ・学級が少ないほうが、離れたクラスの生徒と接しやすい為。(2～3学級が望ましい)
- ・自分の中学校のころがこれぐらいだったから。(4～6学級程度が望ましい)
- ・クラス替えにより、自分に合う友達を見つけやすい。(4～6学級程度が望ましい)
- ・自分は1学年 12 クラスある学校だったが、多すぎてあまり同級生のことを覚えていない。(4～6学級程度が望ましい)

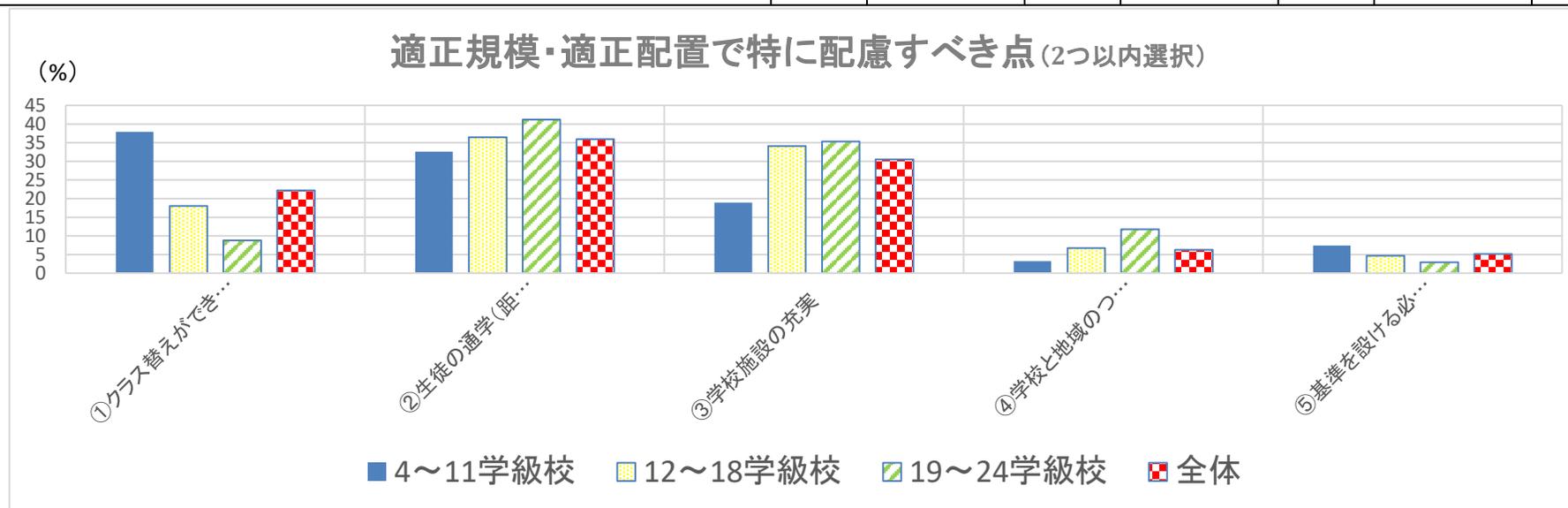
望ましい学級数の理由 (3つ以内選択)



- 🗨️ 2~3 学級程度が望ましい理由として、「③クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる。」挙げた割合が最も高く、次いで「②児童一人ひとりに目が行き届き、きめ細やかな指導が行われる。」の割合が高い。
- 🗨️ 4~6 学級程度が望ましい理由として、「③クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる。」挙げた割合が最も高く、次いで「②児童一人ひとりに目が行き届き、きめ細やかな指導が行われる。」の割合が高い。

【問6】学校の適正な規模や配置の基準を設けるにあたり、特に配慮すべき点と思われるものをお選びください。(選択は2つ以内、上位2項目を網掛け)

		4～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校		全体	
		回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)
1	クラス替えができる程度の生徒数の確保	36	37.9	46	18.0	3	8.8	85	22.2
2	生徒の通学(距離・方法)とその安全性の確保	31	32.6	93	36.5	14	41.2	138	35.9
3	学校施設の充実	18	18.9	87	34.1	12	35.3	117	30.5
4	学校と地域のつながり	3	3.2	17	6.7	4	11.8	24	6.3
5	基準を設ける必要はない	7	7.4	12	4.7	1	2.9	20	5.1
合計		95	100	255	100	34	100	384	100



どの学校規模においても、「②児童・生徒の通学(距離・方法)とその安全性の確保」の割合が平均的に高く、全体では最も高い。

4～11 学級の学校では、「①クラス替えができる程度の生徒数の確保」の割合が約4割で最も高い。

12～18 学級、19～24 学級の学校では、「③学校施設の充実」の割合が2番目に高い。

【自由意見】子ども達の視点から考える最適な学校の規模・配置について

- ・多すぎると人間関係が把握できなかつたり、事件事故等のトラブルが起きそうなので、十分考慮してほしい。
- ・学校間での生徒数の格差はもう少しなくしてほしいが、一方でそれが地域の特性になっている面もあるので、市内の学校が、希望があればどこでも通えるなど、もう少し柔軟性を持たせるなどしたらいい。
- ・全ての地域で最適な学校規模・配置は人口の増減という問題もあり、難しい。子どもたちがどうしたら安全に通えるかを考えてほしい。
- ・自転車、バスの通学を許可する。
- ・通学距離が長いので時間がかかる。2 km以上あるのでせめて自転車で通えればいいと思う。
- ・学校を統合する場合は、通学用のスクールバス等安全面での配慮をお願いする。
- ・災害が増えているので、教育も大切だが、子どもたちの安全と安心を一番に望む。
- ・規模・配置よりも一つ一つの学校の環境、規模等に合わせた教育環境を整える方がいい。
- ・規模や配置よりもその学校に合った指導や環境づくりが大事。
- ・極端にマンモス校、小規模校でなければ、先生方の指導、チームワーク次第で良くも悪くも空気は変わる。子どもたちにとって安全で健康な中学校生活を送れる環境を整えてください。
- ・全て解決、良い環境づくりは難しいので、今までの中でベストを尽くせばいい。先生の環境、働きやすさが第一。
- ・小1から中3までの9年間一度もクラス替えをしたことがない。ずっと同じ人間関係。最低2クラスはないとダメ。
- ・クラブ等も限られるので、最低でも5クラスはあった方がいいと思う。
- ・ある程度クラス替えができる生徒数は必要と思うが、5クラス以上になると顔、名前を知らない生徒がいることもあるので、クラス間の交流が色々あればいいと思う。
- ・いろいろな友達と人間関係を築けるような生徒数は必要。地域の人と繋がることで通学の安全面も解消する。
- ・クラブは専門の外部コーチを招くなど、明確な指導の下で活動させてあげたい(先生の負担も考慮すべき)。
- ・クラブ活動がたくさんあってもそれだけの場所がなければ練習できなかつたりするので、その規模に合った部活の数でいいと思う。
- ・教師の数を増やしてほしい。担任が一人で40人を見るのは無理。
- ・1学級40人のようだが、希望は30人位で授業を受けさせると効率的では。
- ・教室が低学年から変わらず狭そう。学年があがれば問題も増えるのに定員が変わらないのはおかしい。
- ・1学年30人程度にしてほしい。40人超えでは先生の負担が重く、特に中3では進路等目が行き届かない。
- ・1クラス35人程度のほうがクラス内で交流しやすい。40人では教室が狭く閉塞感がある。
- ・35人学級を実現する。
- ・1クラス35人程度にしてほしい。子どもの様子もきめ細かく見ることができ、先生の負担も減るのでは。
- ・1クラス当たりの人数を少なくする。

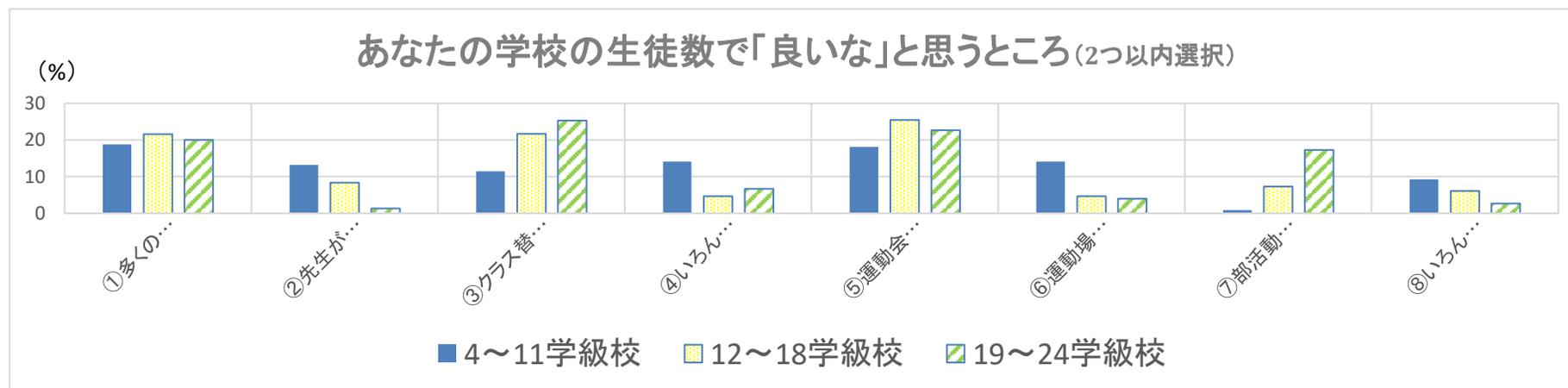
3. 生徒

【問2】あなたが通っている学校の生徒数で「良いな」と思うところがありますか。(選択は2つ以内、上位2項目を網掛け)

		4～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
		回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)	回答数	回答率 (%)
1	多くの友達と力を合わせて勉強や運動ができることが多い。	43	18.8	109	21.6	15	20.0
2	先生が勉強や部活動を細かく指導してくれる。	30	13.2	42	8.4	1	1.3
3	クラス替えがあり、友達がたくさんできる。	26	11.5	110	21.7	19	25.3
4	いろいろな学年の子とふれあう機会が多い。	32	14.1	24	4.7	5	6.7
5	運動会(体育祭)や発表会などの行事がもりあがる。	41	18.1	129	25.5	17	22.7
6	運動場や体育館をたくさん使える。	32	14.1	24	4.7	3	4.0
7	部活動の数がたくさんある。	2	0.9	37	7.3	13	17.3
8	いろいろな先生と接する機会が多い。	21	9.3	31	6.1	2	2.7
合計		227	100	506	100	75	100

その他の意見

- ・みんなの名前を覚えられる。(4～11 学級校)
- ・クラスの数が少ないので、学年みんなと仲良くなれる。(4～11 学級校)
- ・先生と接する機会が多いので、コミュニケーションもとれるし、分からない問題などとても聞きやすい。(4～11 学級校)
- ・人数が少ないから生徒全員の顔を知っている。(4～11 学級校)



㊦ 4～11 学級の学校は、他の学校規模よりも「②先生が勉強や部活動を細かく指導してくれる。」や「④」いろいろな学年の子とふれあう機会が多い。」「⑥運動場や体育館をたくさん使える」の割合が高い。

㊦ 12～18 学級、19～24 学級の学校は、「③クラス替えがあり、友達がたくさんできる。」と「⑤運動会(体育祭)や発表会などの行事がもりあがる。」の割合が高い。

㊦ 19～24 学級の学校の「⑦部活動の数がたくさんある。」の割合は、他の学校規模よりも高い。

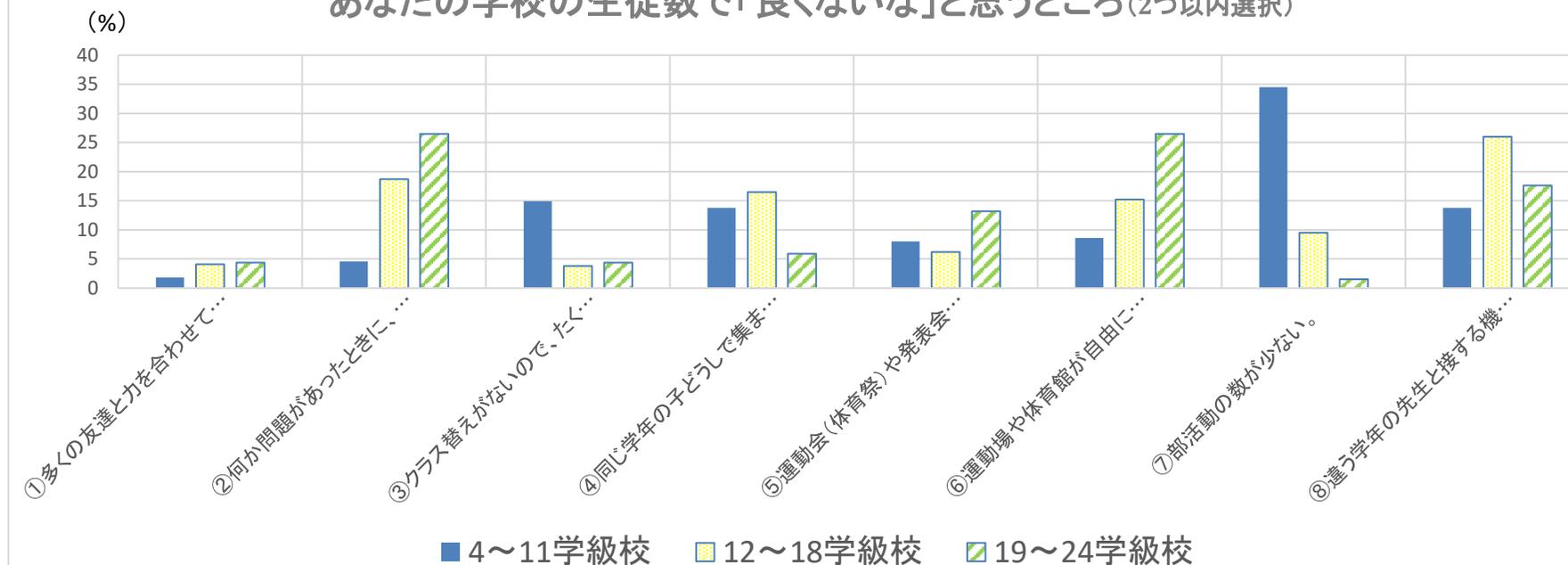
【問3】あなたが通っている学校の生徒数で「良くないな」と思うところがありますか。(選択は2つ以内、上位2項目を網掛け)

	4～11 学級校		12～18 学級校		19～24 学級校	
	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)	回答数	回答率(%)
1 多くの友達と力を合わせて勉強や運動ができることが少ない。	3	1.8	15	4.1	3	4.4
2 何か問題があったときに、先生に気づかれにくい。	8	4.6	69	18.7	18	26.5
3 クラス替えがないので、たくさんの友達を作りにくい。	26	14.9	14	3.8	3	4.4
4 同じ学年の子どうしで集まりやすい。	24	13.8	61	16.5	4	5.9
5 運動会(体育祭)や発表会のプログラムが少ないので、少し物足りない。	14	8.0	23	6.2	9	13.2
6 運動場や体育館が自由に使いにくい。	15	8.6	56	15.2	18	26.5
7 部活動の数が少ない。	60	34.5	35	9.5	1	1.5
8 違う学年の先生と接する機会が少ない。	24	13.8	96	26.0	12	17.6
合計	174	100	369	100	68	100

その他の意見

- ・部活動の数がもっとあれば、体育大会ももっと盛り上がると思う。(4～11 学級校)
- ・同学年でも違うクラスの生徒と接する機会が少ない。(12～18 学級校)
- ・3年間で一度も同じクラスにならない子がいる。(19～24 学級校)
- ・1 クラスの人数が多い。(19～24 学級校)

あなたの学校の生徒数で「良くないな」と思うところ(2つ以内選択)



📣 4～11 学級の学校では、他の学校規模よりも「⑦部活動の数が少ない。」や「③クラス替えがないので、たくさんの友達を作りにくい」の割合が高い。

📣 12～18 学級、19～24 学級の学校は、4～11 学級の学校よりも、「②何か問題があったときに、先生に気づかれにくい。」と「⑧違う学年の先生と接する機会が少ない。」の割合が高い。

📣 19～24 学級の学校は、他の学校規模よりも「⑥運動場や体育館が自由に使いにくい。」の割合が高い。

4. 全体のまとめ【中学校】

本アンケート調査の結果から、教職員、保護者、生徒の意識について以下のようなことが確認された。

① 現在勤務・通学している学校の「良いところ」、「課題があるところ」について

「良いところ」

4～11 学級の学校について、教職員、保護者ともに「生徒一人ひとりに目が行き届き、きめ細やかな指導が行われている。」や「学校が一体となって活動しやすい」と回答した割合が高かった。他に教職員では「担任だけでなく、学年の教員が児童生徒の様子を把握できる」と回答した割合が高く、生徒では「色々な学年の子とふれあう機会が多い」と回答した割合が高かった。いずれも小規模校のメリットとして挙げられる項目が上位を占めた。

12～18 学級、19～24 学級の学校について、教職員、保護者、生徒ともに「クラス替えにより人間関係がふくらみ、友達がたくさんできる」と回答した割合が高かった。

「課題があるところ」

4～11 学級の学校について、教職員、保護者、生徒ともに「クラブ活動が限定され、選択の幅が狭い」と回答した割合が最も高く、教職員、保護者では「クラス替えができず、人間関係が固定化している」の割合が次いで高かった。いずれも小規模校のデメリットとして挙げられる項目が上位を占めた。

19～24 学級の学校について、教員、保護者で「生徒一人ひとりの個性を把握し、きめ細かな指導を行うことが少ない」、生徒では「何かあったときに、先生に気づかれにくい。」や「運動場や体育館が自由に使いにくい。」と回答した割合が高かった。いずれも大規模校のデメリットとして挙げられる項目が上位を占めた。

② 子どもたちにとって望ましい学級数とその理由について

学級数

全て学校規模において、教職員、保護者ともに「4～6学級程度」(全体で 12～18 学級)と回答した割合が最も高く全体の約7割を占めた。次に「2～3学級程度」(全体で6～9学級)と回答した割合が高く、全体の約2割を占めた。

理由

「4～6学級程度」が望ましい理由として、教職員、保護者ともに「クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる。」と回答した割合が高かった。

③ **規模が大きい、小さい学校に対する望ましい対応について(教職員のみ)**

大きい学校

全て学校規模において、「通学区の見直しを行う」と回答した割合が高く、全回答の約半数を占めた。

小さい学校

全て学校規模において、「通学区の見直しを行う」と回答した割合が高く、全回答の約4割を占めた。

④ **学校の適正規模・配置を進めるうえで重視(配慮)すべき点について**

教職員では「児童生徒数や学級数の多い少ない」を重視すると回答した割合が最も高かったが、保護者の回答では「生徒の通学(距離・方法)とその安全性の確保」を配慮すべき点と回答した割合が最も高かった。

⑤ **【自由意見】子どもたちにとって最適な学校規模・配置について**

教職員

「4～6クラス程度が望ましい。集団生活の中でたくさんの価値観に触れてほしいから」等といった学校規模に関する意見や「通学距離が遠い校区があり下校が心配」といった通学距離等への意見がある中で、「今40人を超えているが、35人学級になればいい。」、「1学級40人を超えると実習等のグループワークがやりづらい。」等学級規模について言及する割合が高かった。

保護者

「35人学級を実現する。」といった学級規模に関する意見や「子どもたちがどうしたら安全に通えるか考えてほしい。」といった通学の安全面に関する意見が多かった。